

一般国道55号 牟岐^{むぎ}バイパス
事業再評価

平成23年3月11日

国土交通省 四国地方整備局

一般国道55号 牟岐バイパス

【 目 次 】

1. 牟岐バイパスの概要	1
1.1. 事業の目的.....	1
1.2. 事業計画諸元.....	2
2. 事業経緯	3
2.1. 主な事業の経緯.....	3
3. 防災事業の評価	4
3.1. B／C総点検結果（平成23年2月1日公表）.....	4
3.2. 防災事業の評価.....	4
4. 事業の必要性等に関する視点	5
4.1. 事業を巡る社会情勢等の変化.....	5
4.1.1. 事業の効果や必要性.....	5
4.1.2. 事業を巡る社会情勢の変化.....	10
4.1.3. 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等.....	19
4.2. コスト縮減.....	20
4.3. 事業の投資効果.....	21
4.4. 将来交通量変動要因.....	22
4.5. 事業の進捗状況.....	23
5. 事業の進捗見込みの視点	24
6. 代替案立案等の可能性の視点	24
7. 地方公共団体からの意見	25
8. 対応方針（原案）	26

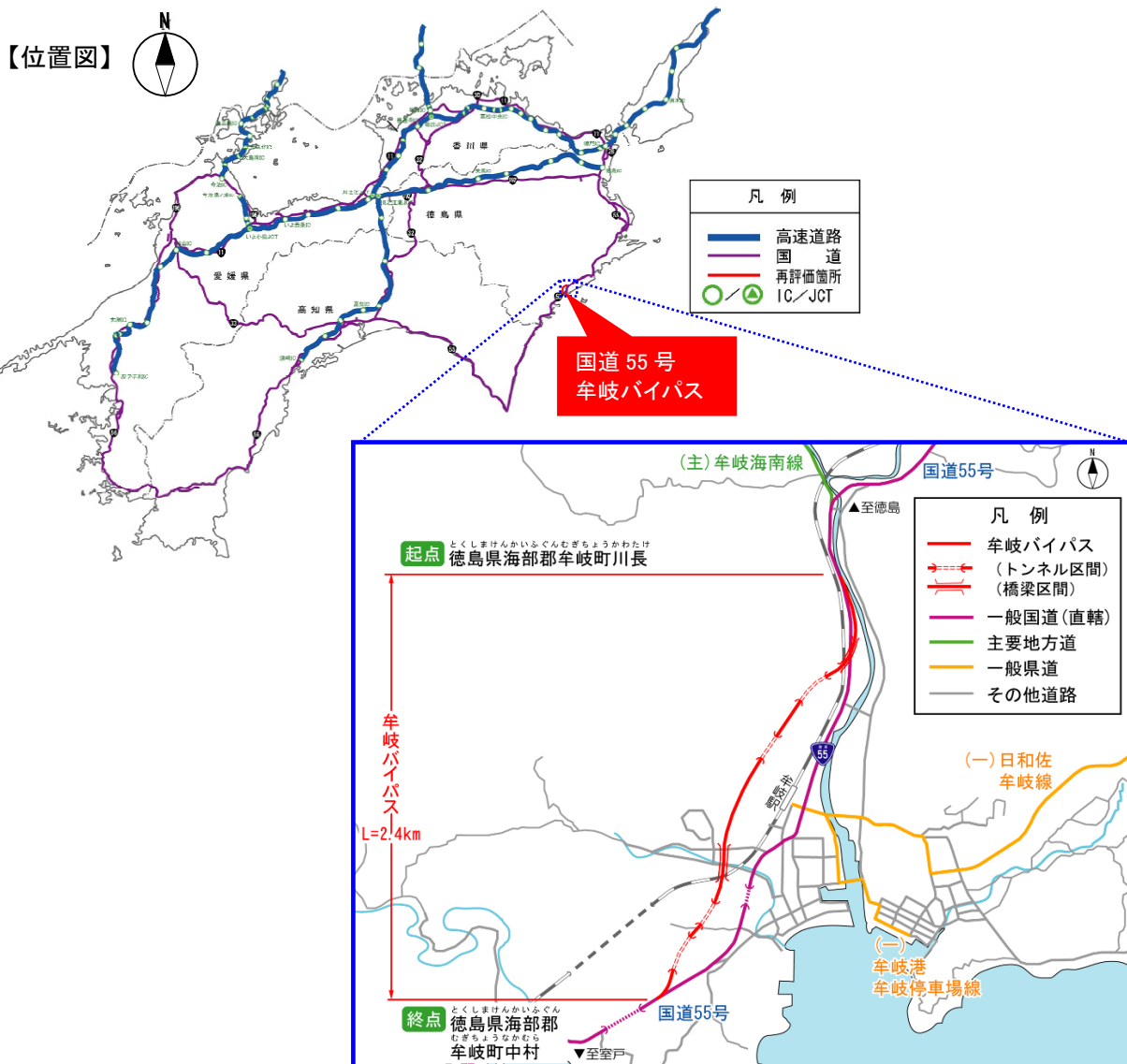
1. 牟岐バイパスの概要

1.1. 事業の目的

一般国道 55 号は、徳島県徳島市を起点に、阿南市、牟岐町を經由して、室戸阿南海岸国定公園沿いを経て、高知県高知市に至る総延長約 200 km の主要幹線道路であり、徳島県、高知県の産業経済を支える大動脈であるとともに、通勤等、日常生活に欠かせない生活道路としての役割を持つ重要な路線である。

現在の一般国道 55 号（牟岐バイパス計画区間）は、徳島県南地域にとって唯一の幹線道路であるが、代替路となる路線が存在せず、南海地震等の災害時のリダンダンシーが確保されておらず、また牟岐町市街地における狭隘区間や線形不良箇所が存在するなど脆弱な面を持っている。

牟岐バイパスによって、近い将来に発生が予想されている東南海・南海地震による市街地の現道（国道 55 号）の津波浸水区間を回避する代替路が確保され、また第三次医療施設へのアクセス向上により地域住民の安心感の向上が期待されるなど、牟岐町及び牟岐町以南の「命の道」の確保に大きく貢献するものである。加えて、牟岐町市街地に流入する通過交通がバイパスに転換することで、歩道がなく狭隘な路肩を歩く歩行者の安全の確保と交通混雑の解消など、地域の活性化に大きく寄与するものである。

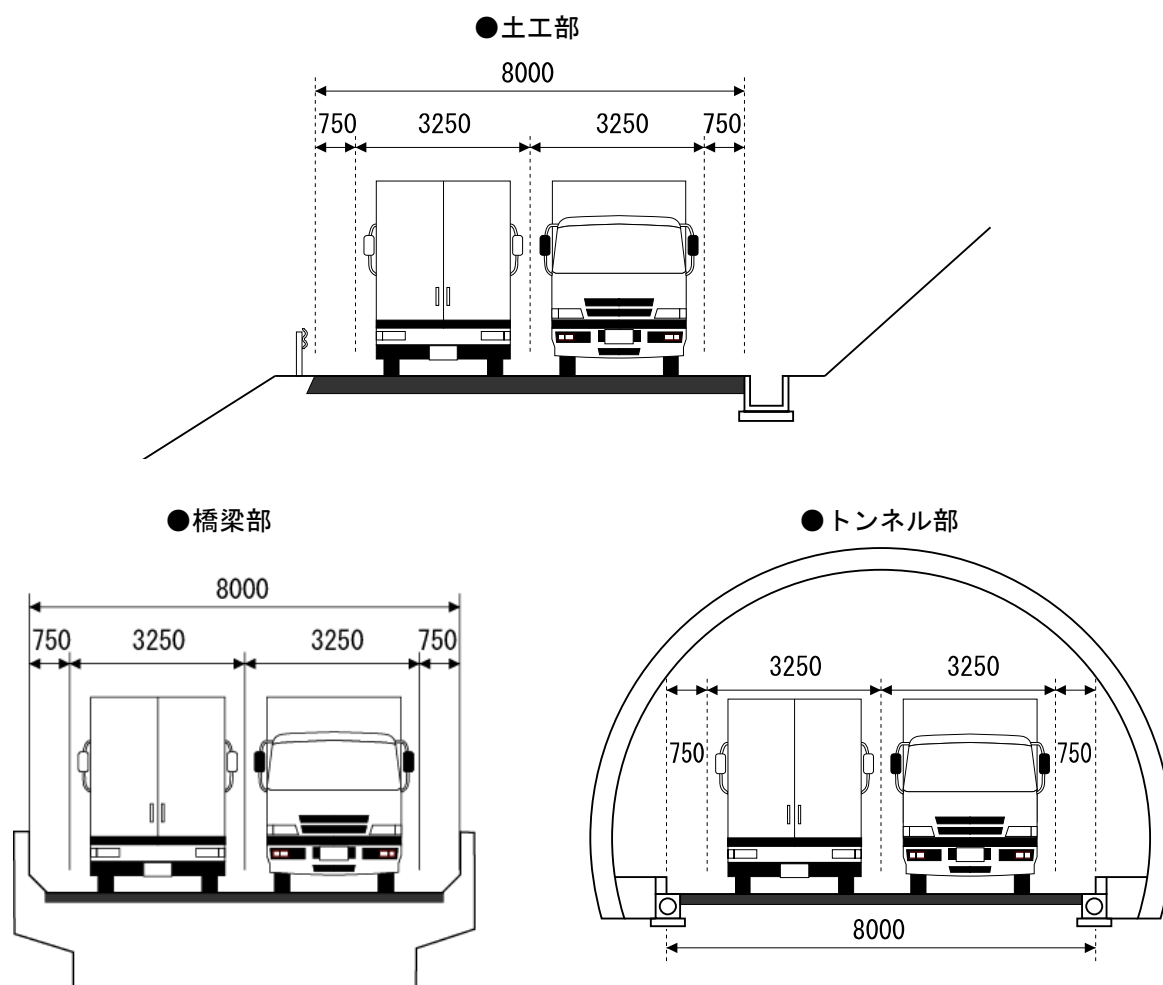


1.2. 事業計画諸元

項目	内容
事業名	一般国道55号 牟岐バイパス
計画区間	自) 徳島県海部郡牟岐町川長 至) 徳島県海部郡牟岐町中村
計画延長	2.4km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	8.0m

【標準断面図】

(単位：mm)

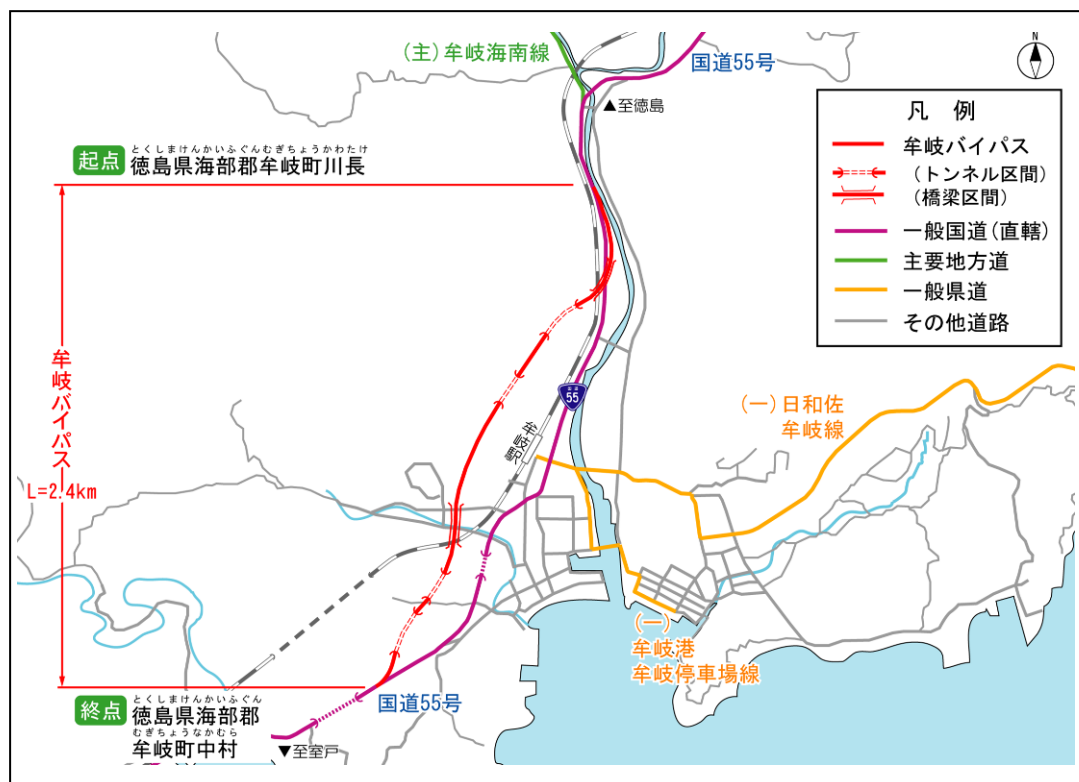


2. 事業経緯

2.1. 主な事業の経緯

年 度	内 容
平成 16 年度～19 年度	事業化 道路予備設計、測量、地質調査
平成 20 年度～21 年度	道路詳細設計、設計協議、用地測量

<事業概要図>



3. 防災事業の評価

3.1. B／C総点検結果（平成23年2月1日公表）

都道府県 (実施箇所)	事業名	全体 事業費 (億円)	B/C	直近 評価 年度	評価 区分	直近評価年度の 対応方針	備考
徳島県	一般国道 55 号 牟岐バイパス	70	1.2	H20	再評価	継続	(注1)

(注1)防災面の効果が特に大きい事業については、前回公表時(H22.2)の内容を記載しているが、3便益以外の効果も整理した上で評価することとしている。

3.2. 防災事業の評価

＜防災事業の評価に対する指摘＞

○ 3便益以外の効果进行评估すべき

○ (防災面での効果の大きい事業など) 事業目的に応じた手法により評価すべき

↓

防災面の効果が大きい事業について3便益以外の効果も整理した上で評価するもの

4. 事業の必要性等に関する視点

4.1. 事業を巡る社会情勢等の変化

4.1.1. 事業の効果や必要性

■ 緊急輸送道路ネットワークへの位置づけ

緊急輸送路としての機能を代替し、災害時の迅速な復旧が可能に

【現状・課題】

- 県南地域は、過去数回にわたって大地震に見舞われており、東南海・南海地震も今後 30 年以内に 60～70%の確率で発生すると予測されている。牟岐町においては、**第一次緊急輸送路である現国道 55 号区間が約 2m の浸水被害が生じると予測されている。**
- このため、津波による浸水で長期にわたり現国道 55 号が不通になると、**県南地域に孤立集落が発生**し、救急活動や復旧活動に支障をきたすことが予想される。

＜県南地域が被災した主な大規模地震＞

発生	災害名称	被災内容	地震規模
684. 11. 29	白鳳地震	土佐、その他南海地で大きな被害（津波他）	M8 クラス
1099. 2. 22	康和地震	近畿・四国で大きな被害	M8. 2
1361. 8. 3	正平地震	近畿・土佐・阿波で大きな被害（津波他）	不明
1605. 2. 3	慶長地震	津波の被害甚大（特に矢野では死者1500余人、津波高さ2丈）	M7. 9
1707. 10. 4	宝永 4 年地震・津波	【牟岐での被害】 ・津波により700戸余流出 ・溺死者百十余名	M8. 4
1854. 12. 24	安政南海地震	【牟岐での被害】 ・津波高さ9m	M8. 4
1946. 12. 21	昭和南海地震	【牟岐での被害】 ・津波高さ平均4. 5m ・死者53人、負傷者38人 ・家屋流出109戸、家屋倒壊265戸、 半壊469戸、浸水718戸	M8. 0

出典）中央防災会議資料ほか



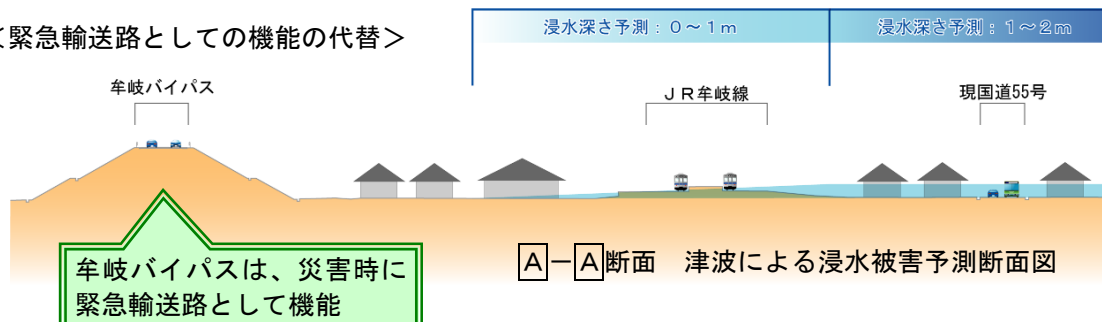
出典）徳島地方気象台 HP

昭和南海地震時の牟岐町東部の被害

【整備効果】

- 牟岐バイパスの整備により、県南地域の「**命の道**」として**孤立集落の解消が期待**される。また、牟岐バイパスが緊急輸送路としての機能を代替し、**災害時の救急活動や救援物資の搬送など迅速な復旧支援が可能**となる。

＜緊急輸送路としての機能の代替＞



■ 第三次医療施設へのアクセス向上

重篤患者の搬送環境向上や地域住民の安心感向上に期待

【現状・課題】

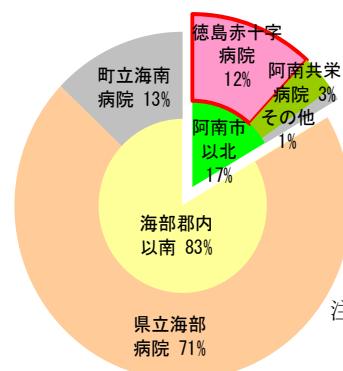
- 県南地域では、県立海部病院での土曜日の救急受け入れ休止等の深刻な課題を抱えており、急救車の人口あたり出動件数が上位の牟岐町や海陽町では、全体の約17%を阿南市以北の救急医療機関へ搬送しており、第三次救急医療機関である徳島赤十字病院への転院搬送を含め、患者を地域外に搬送せざるを得ない環境となっている。

<第三次救急医療機関への平均搬送時間>



出典) 海部郡消防組合調べ

<搬送先別搬送件数の割合 (H17-H21 平均) >



<人口 1000 人あたり出場件数>

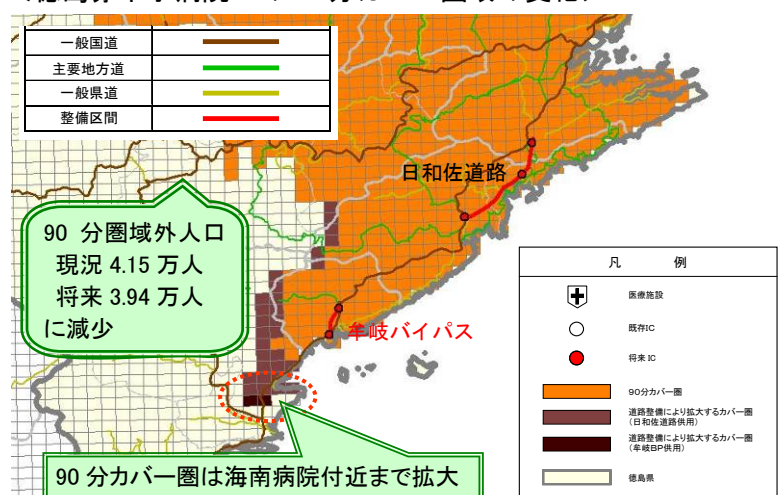
No.	市町村名	出場件数	高齢化率順位
1	牟岐町	63.9	4位
2	三好市	44.0	7位
3	海陽町	43.2	8位
4	つるぎ町	41.9	6位
5	阿南市	37.6	15位
6	小松島市	37.4	17位
7	神山町	37.4	2位
8	美波町	37.2	5位
9	美馬市	35.8	11位
10	上板町	35.4	19位
	県平均	33.5	

出典) 「平成 21 年救急患者搬送調べ」(徳島県)
(上位 10 市町村)

【整備効果】

- 牟岐バイパスを含む高速ネットワークの連結により、県内では徳島赤十字病院への 90 分圏外人口が減少し、重篤患者の搬送環境が向上することで地域住民の安心感の向上が期待される。

<徳島赤十字病院への 90 分カバー圏域の変化>



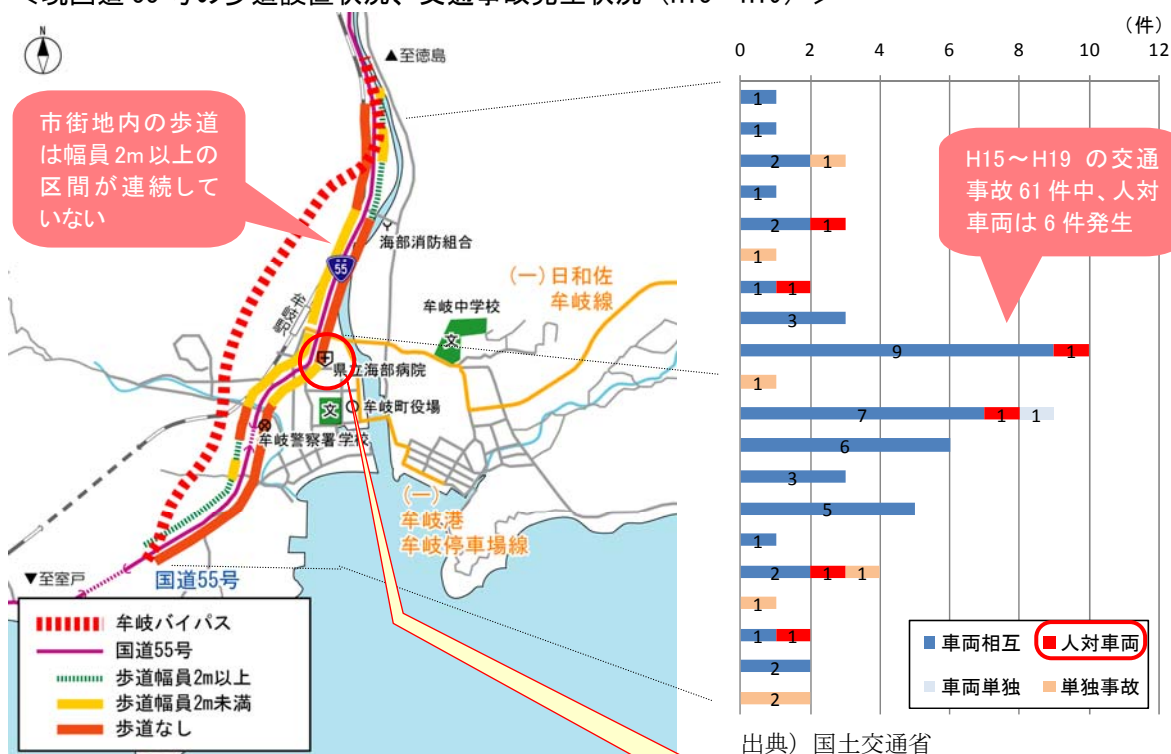
■ 市街地における歩行者等の安全性の向上

通過交通の転換による市街地内の快適・安全な生活空間の確保

【現状・課題】

- ・ 牟岐町の市街地では、現国道 55 号が主要な歩行経路で牟岐小学校・牟岐中学校の通学路に指定されているが、歩道幅員の狭い区間が多く、路肩もほとんどない。
- ・ また、歩道幅員の狭い区間や歩道のない区間では、人対車両の交通事故が発生しており、歩行者等の安全性に課題を有している。

＜現国道 55 号の歩道設置状況、交通事故発生状況（H15～H19）＞



【整備効果】

- ・ 牟岐バイパスの整備により、大型トラックなどの通過交通がバイパスに転換することで、現道の交通事故発生機会が減少し、市街地内において快適かつ安全な生活空間の確保が期待される。



■ 主要観光地へのアクセス向上

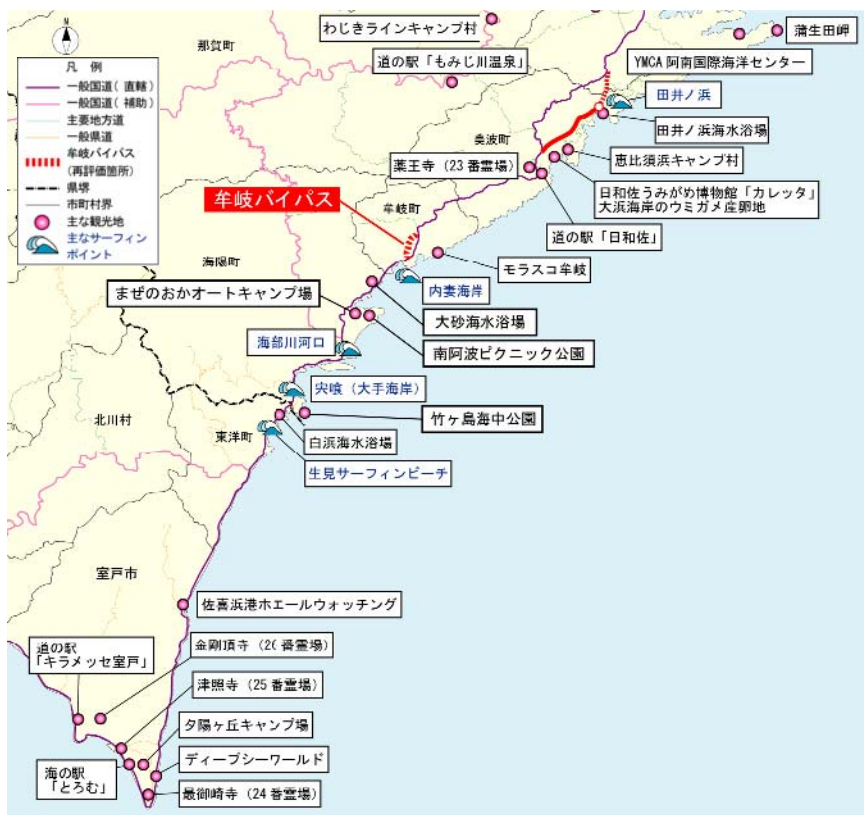
○ 関西方面等からのアクセスが向上し、観光振興を支援

【現状・課題】

- 海部郡には、全国でも屈指のサーフィンポイントやウミガメの産卵地など、**独特で魅力ある観光資源が多数存在**しており、これらの資源を活かした観光振興に取り組んでいる。
- しかし、阿南ブロックの観光入込客数は減少傾向にあり、豊富な観光資源を活かし切れていない状況となっていることから、**地域を周遊できるネットワーク整備**が求められている。

注) 阿南ブロック;徳島県観光調査における地区区分
(阿南市、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町)

＜県南地域及び周辺における主な観光資源＞



● 海部郡は全国屈指のサーフィンポイント



(H20.7.10 徳島新聞)

● 牟岐町内サーフショップの声

➢ 海部郡は屈指のサーフポイントで、関西圏のサーファーが国道 55 号を利用して多数来訪している。最近では北海道や海外からも来訪している。
～事業者ヒアリング調査結果より～



● 穴喰 (大手海岸)



● 竹ヶ島周辺 (シーカヤック)



● 竹ヶ島周辺 (海中観光船)

出典)「四国の右下 (H22.11 月号)」(徳島県南部総合県民局)
徳島県観光情報サイト 阿波ナビ (「竹ヶ島シーカヤック」サイト)

【整備効果】

- 牟岐バイパスを含む高速ネットワークの連結により、サーフィンをはじめ**マリンスポーツ**等が盛んな県南地域への**アクセス性が向上し、観光振興の支援が期待**される。

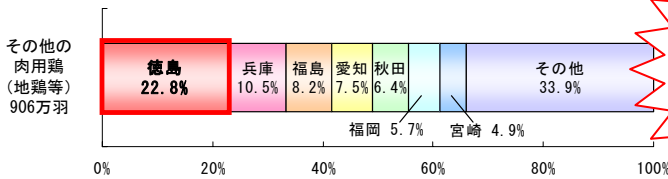
■ 農林水産品の流通の利便性向上

豊富な特産品の出荷を支援

【現状・課題】

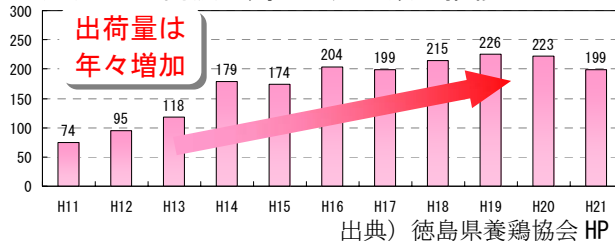
- 県南地域には、県内の特産品である地鶏「阿波尾鶏」の加工工場が存在するほか、伊勢エビやアワビなどの高級水産物が豊富であり、京阪神地域等に出荷されている。
- 県南地域の特産品の更なる競争力強化のため、生鮮品流通の利便性や速達性向上が課題となっている。

＜その他肉用鶏（地鶏等）の出荷羽数の割合＞

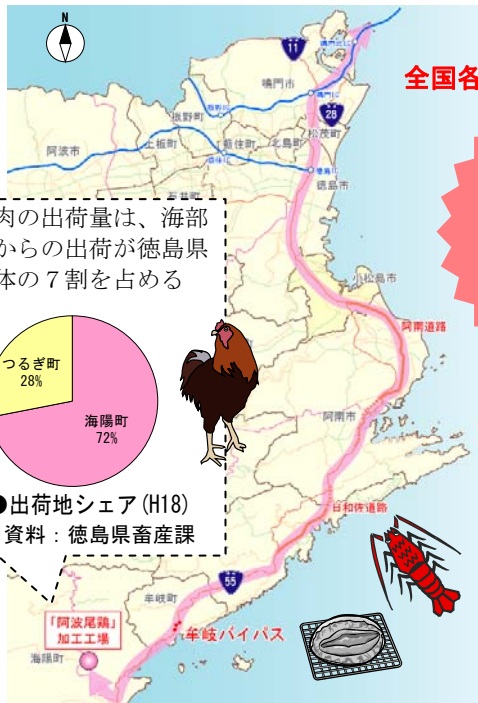


出典)「平成 21 年食鳥流通統計調査結果の概要」(農林水産省)

＜阿波尾鶏の生産羽数の推移＞



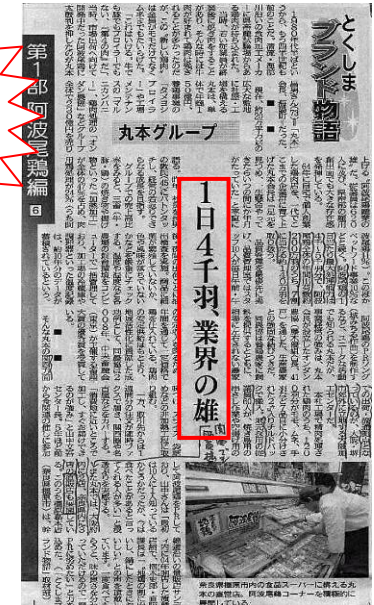
出典) 徳島県養鶏協会 HP



【整備効果】

- 牟岐バイパスの整備により、特産品の豊富な海部郡にとって、京阪神地域をはじめ全国への流通拡大による知名度・商品価値の向上が期待される。

＜阿波尾鶏関連記事＞



出典) 徳島新聞 (H23.1.22)

＜伊勢エビの漁獲量＞

順位	産地	漁獲量(t)
1	三重県志摩市	92
2	千葉県いすみ市	72
3	千葉県勝浦市	71
4	千葉県南房総市	55
5	徳島県海部郡(美波町・牟岐町・海陽町)	48
5	和歌山県串本町	48
7	千葉県鴨川市	45
8	和歌山県那智勝浦町	42
9	静岡県南伊豆町	37
10	宮崎県宮崎市	34

＜アワビの漁獲量＞

順位	産地	漁獲量(t)
1	岩手県宮古市	111
2	徳島県海部郡(美波町・牟岐町・海陽町)	71
3	千葉県南房総市	64
4	岩手県釜石市	60
5	岩手県大船渡市	54
6	三重県志摩市	51
7	宮城県石巻市	44
8	長崎県対馬市	42
9	愛媛県今治市	38
10	山口県下関市	35

出典)「平成 20 年海面漁業生産統計調査」
(農林水産省)

●地鶏加工業者の声

- 国道 55 号は海陽町にとって命の道だが、大雨で通行止めになるなど不便な道路。徳島まで1時間以内で行けるようにしてもらいたい。

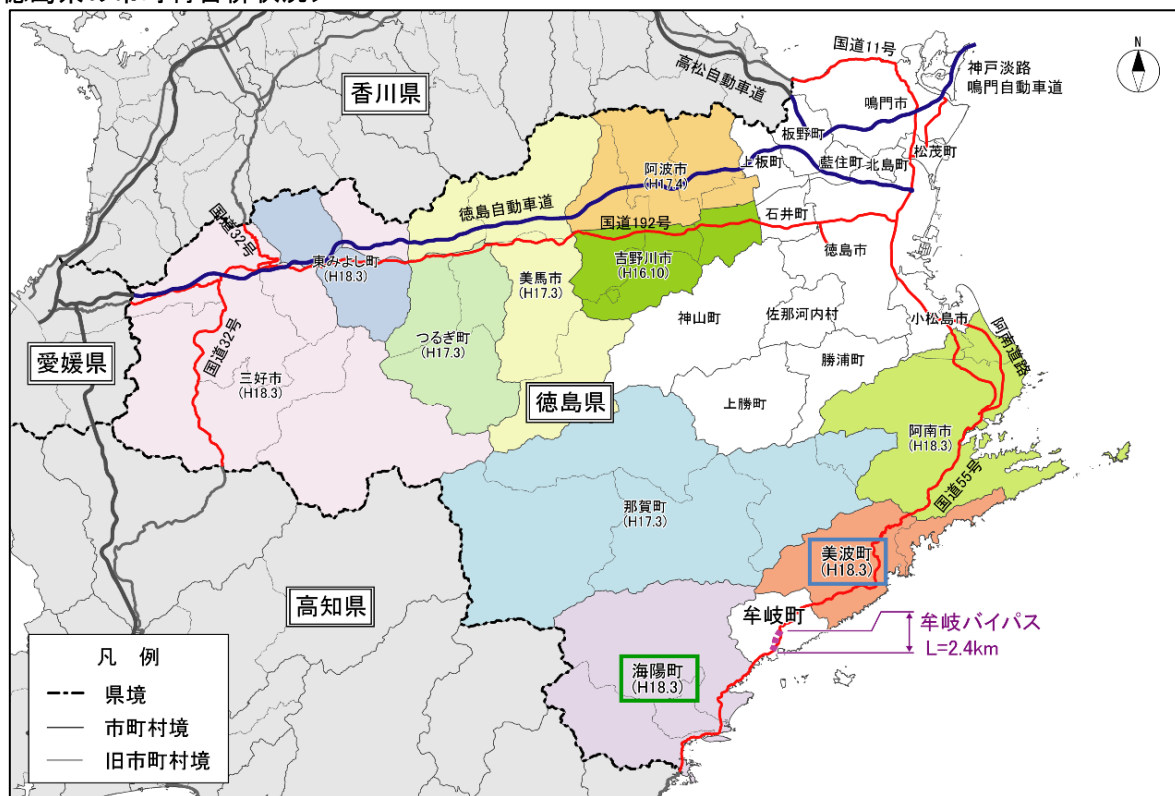
～事業者ヒアリング調査結果より～

4.1.2. 事業を巡る社会情勢の変化

(1) 市町村合併の状況

- 徳島県では平成16年10月以降、市町村合併が進んでおり、市町村合併以前の50市町村（4市38町8村）から24市町村（8市15町1村）に減少している。
- 牟岐バイパス及び現国道55号沿線では、平成18年3月の合併により「美波町」（旧日和佐町、旧由岐町）、「海陽町」（旧海南町、旧海部町、旧穴喰町）が誕生した。

<徳島県の市町村合併状況>



合併年別	新市町 (合併後)	構成市町村(旧名) (合併前)
平成16年10月	吉野川市	鴨島町、川島町、山川町、美郷村
平成17年3月	美馬市	脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村
	つるぎ町	半田町、貞光町、一宇村
	那賀町	鷲敷町、相生町、上那賀町、木沢村、木頭村
平成17年4月	阿波市	吉野町、土成町、市場町、阿波町
平成18年3月	三好市	三野町、池田町、山城町、井川町、東祖谷山村、西祖谷山村
	東みよし町	三好町、三加茂町
	阿南市	阿南市、那賀川町、羽ノ浦町
	美波町	由岐町、日和佐町
	海陽町	海南町、海部町、穴喰町

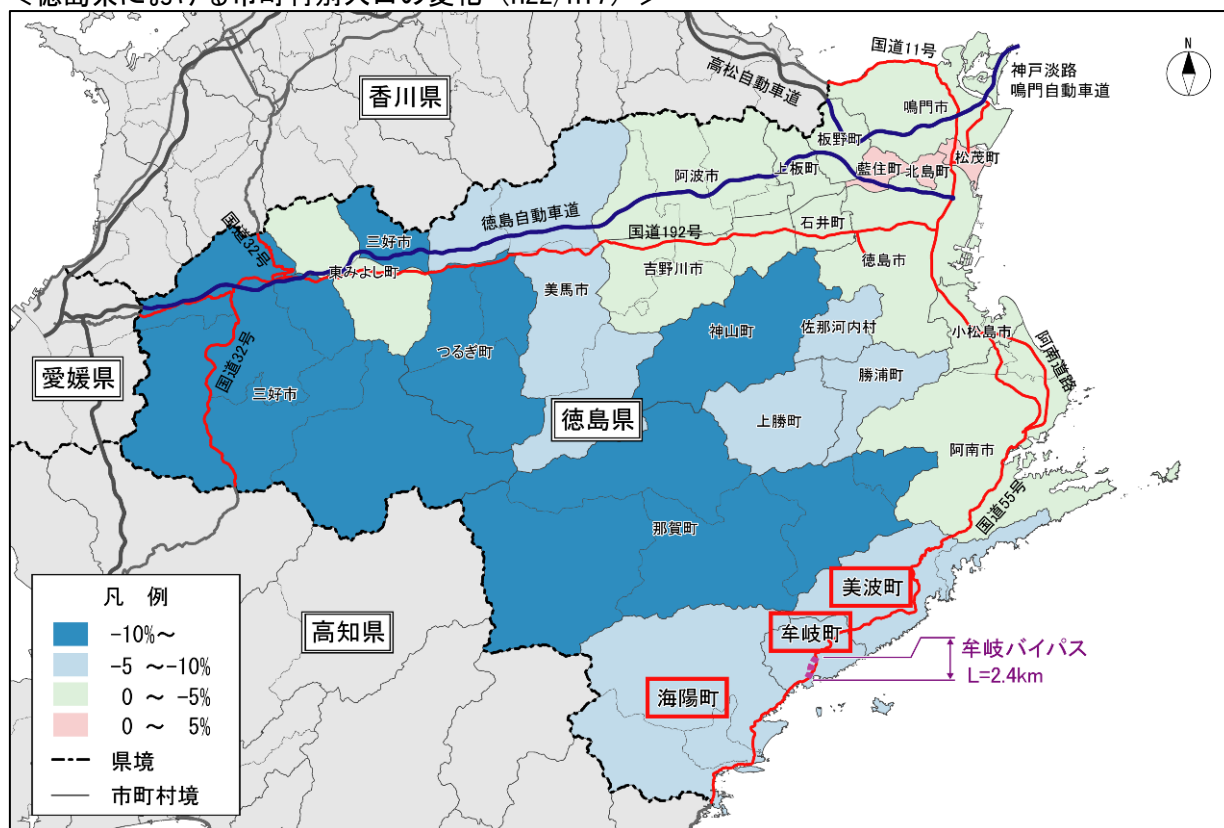
出典) 徳島県市町村合併HP

(2) 人口の動向

a) 総人口の推移

- ・ 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体の人口の変化（H22/H17）を見ると、牟岐町 0.90 倍、美波町 0.90 倍、海陽町 0.90 倍といずれも減少傾向である。
- ・ 徳島県の市町村別人口の変化は 0.97 倍であり、特に県南地域では人口の減少幅が大きく、地域活力の減退が懸念される。

<徳島県における市町村別人口の変化（H22/H17）>



出典)「国勢調査」(総務省統計局)、「徳島県推計人口 (H22.7.1 現在)」(徳島県)

<牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における人口の推移（H12～H22）>

(人)

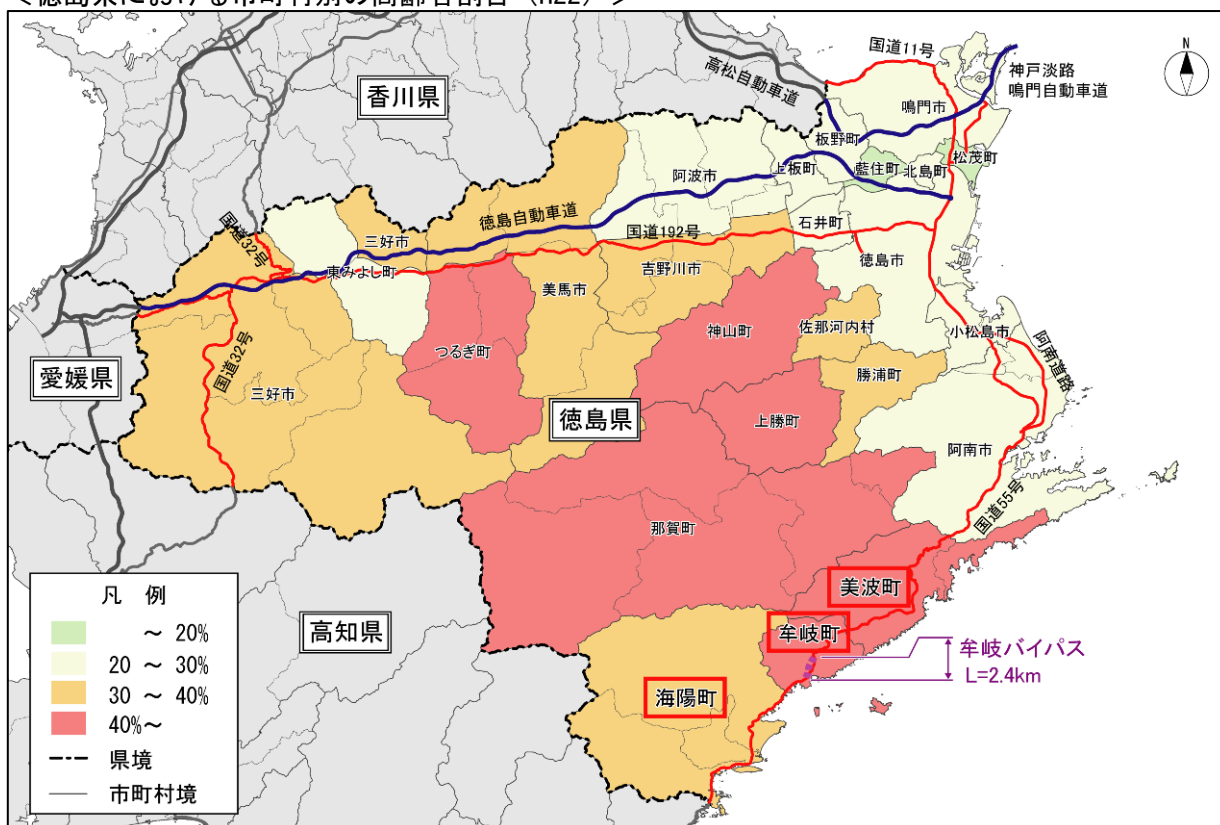
市町名	H12	H17	H22	増減率 (H22/H17)
牟岐町	5,755	5,391	4,863	0.90
美波町	9,307	8,726	7,860	0.90
海陽町	12,104	11,507	10,403	0.90
徳島県	824,108	809,950	785,080	0.97

出典)「国勢調査」(総務省統計局)、「徳島県推計人口 (H22.7.1 現在)」(徳島県)

b) 高齢者割合

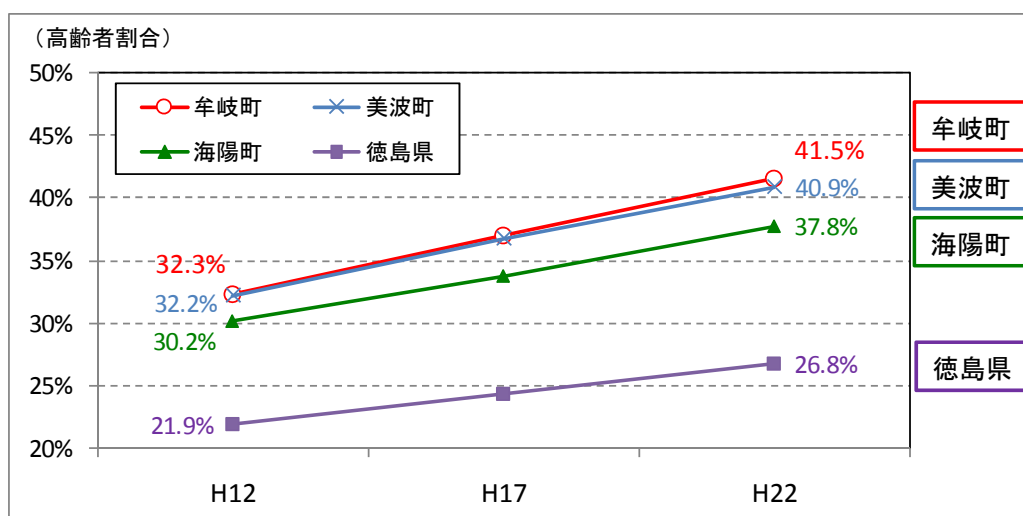
- ・ 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における 65 歳以上の高齢者割合の推移（H12～H21）を見ると、牟岐町（9.2%上昇）、美波町（8.7%上昇）、海陽町（7.6%上昇）となっている。
- ・ これらの結果を徳島県全体（21.9%→26.8%（4.9%上昇））と比べると、県南地域は人口の減少に加え、急激な高齢化が進んでいることが分かる。

<徳島県における市町村別の高齢者割合（H22）>



出典）「徳島県年齢別推計人口（H22.7.1 現在）」（徳島県）

<牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における高齢者割合の推移（H12～H22）>



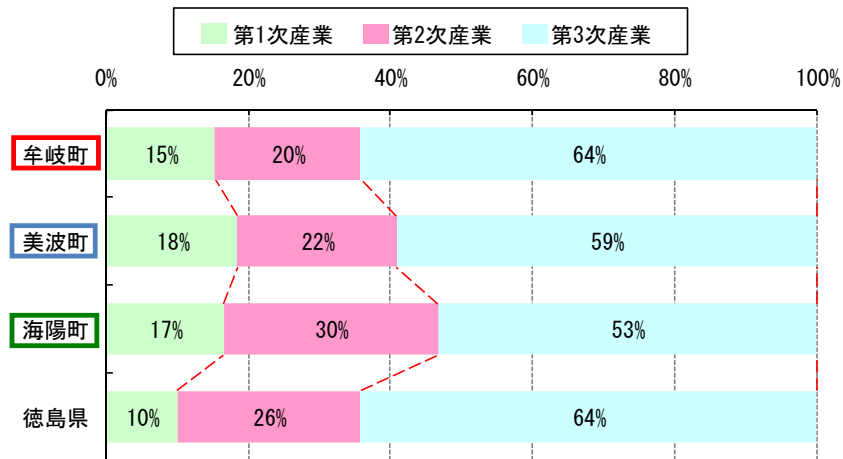
出典）「国勢調査」（総務省統計局）、「徳島県年齢別推計人口（H22.7.1 現在）」（徳島県）

(3) 産業の動向

■産業別就業人口

- 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における産業別就業人口割合 (H17) を見ると、牟岐町、美波町、海陽町は第 1 次産業の割合が徳島県全体と比べて高く、牟岐町、美波町、海陽町は農林水産業のウエイトが高い。
- 産業別就業人口比率の推移 (H12～H17) を見ると、徳島県全体は第 1 次、第 2 次産業が減少し、第 3 次産業の比率が増加しているが、牟岐町、美波町、海陽町は全ての産業で就業人口が減少している。

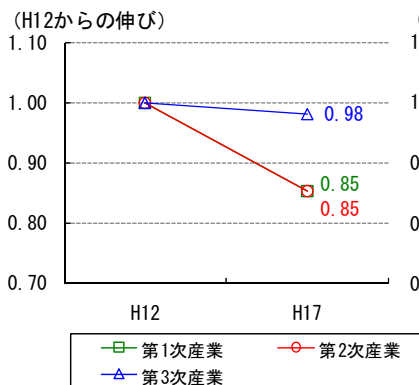
＜牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における産業別就業人口割合 (H17)＞



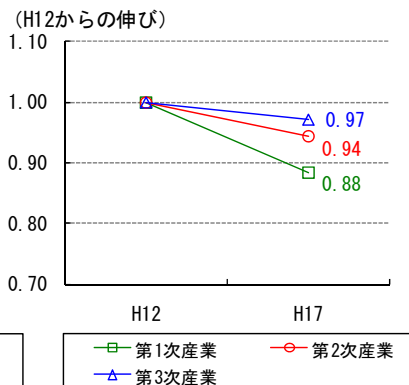
出典)「国勢調査」(総務省統計局)

＜産業別就業人口の推移 (H12～H17)＞

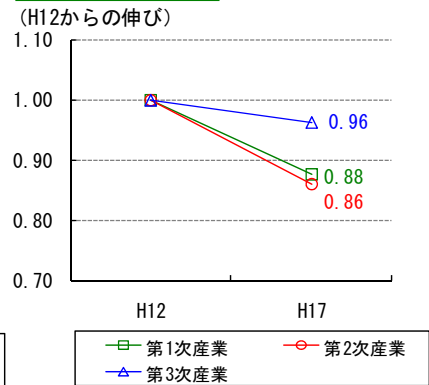
(牟岐町)



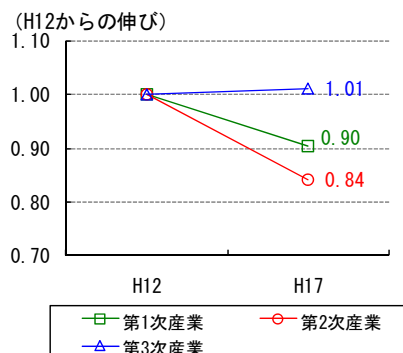
(美波町)



(海陽町)



(徳島県)

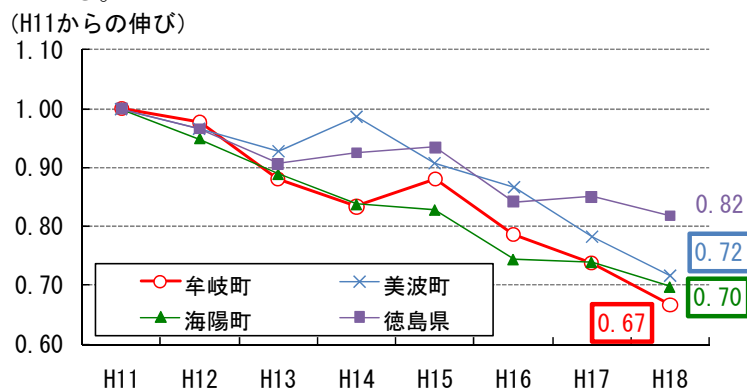


注) 該当自治体を従業地とする就業者数を
集計対象としている

出典)「国勢調査」(総務省統計局)

■農業産出額の推移

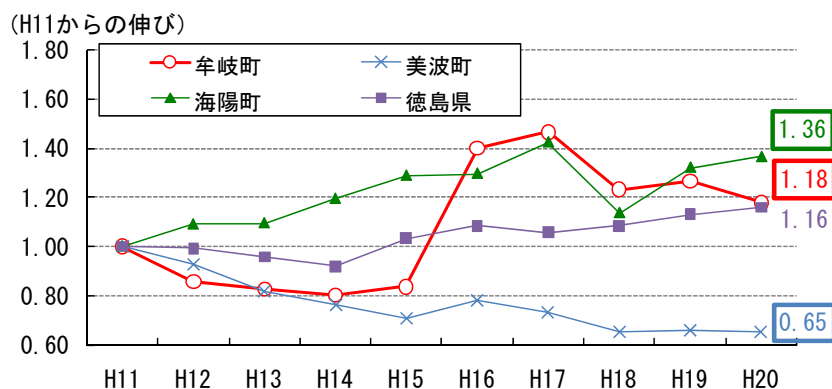
- 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における農業産出額の推移（H11～H18）を見ると、徳島県全体、沿線自治体ともに減少傾向にある。
- 県南地域である牟岐町、美波町、海陽町とも、徳島県全体 0.82 倍よりも減少割合が大きくなっている。



出典)「生産農業所得統計」(農林水産省)

■製造品出荷額等の推移

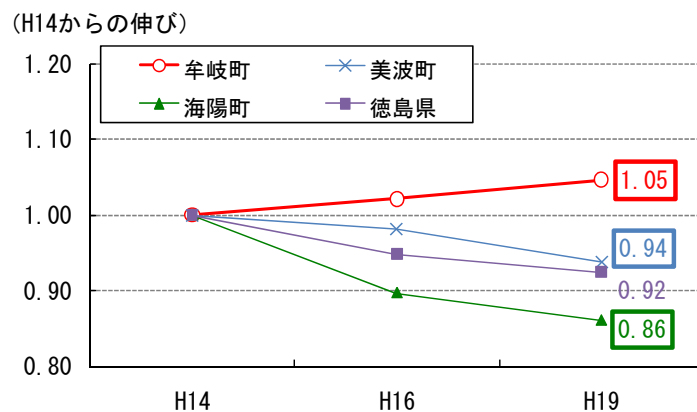
- 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における製造品出荷額等の推移（H11～H20）を見ると、徳島県全体 1.16 倍、牟岐町 1.18 倍、海陽町 1.36 倍と H11 から大きく増加しているが、美波町は 0.65 倍と減少している。



出典)「工業統計調査」(経済産業省)

■年間商品販売額（小売業）の推移

- 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における年間商品販売額(小売業)の推移(H14～H19)を見ると、牟岐町 1.05 倍と増加しているが、徳島県全体 0.92 倍、美波町 0.94 倍、海陽町 0.86 倍と減少傾向にある。



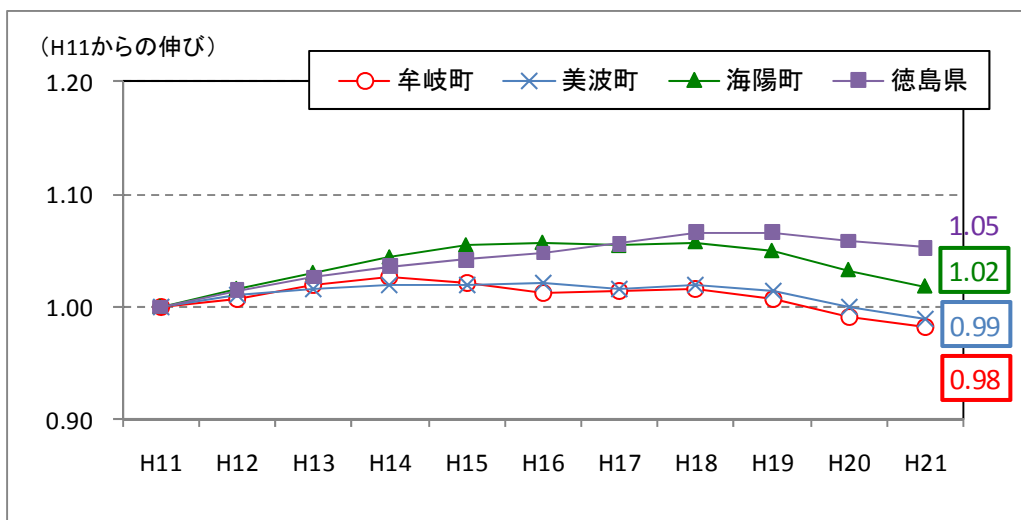
出典)「商業統計調査」(経済産業省)

(4) 交通の動向

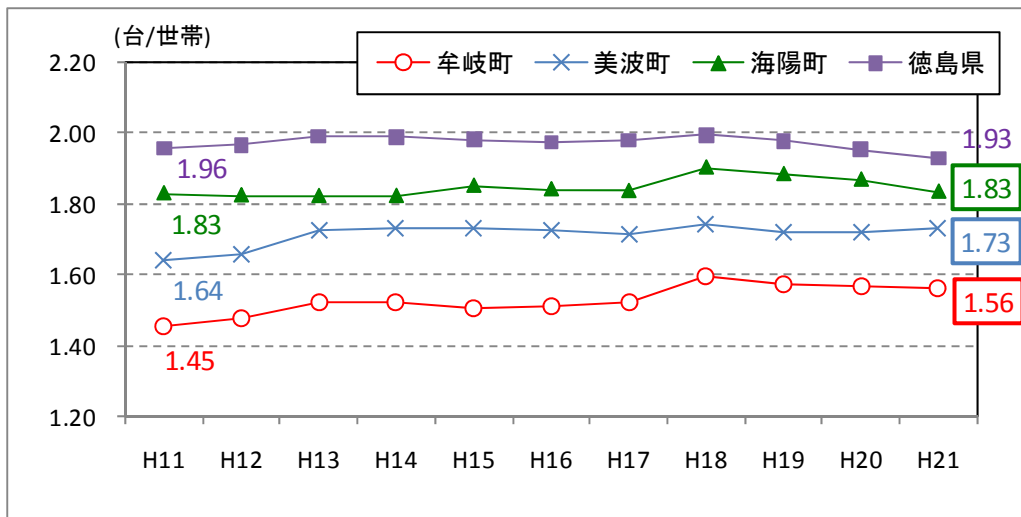
a) 自動車保有台数の推移

- 牟岐バイパス及び現国道 55 号沿線自治体における近年の自動車保有台数の推移（H11～H21）を見ると、徳島県全体では増加傾向（対 H11 伸び 1.05）にあるが、牟岐町 0.98、美波町 0.99、海陽町 1.02 で徳島県全体の伸びを下回っている。
- 1 世帯あたりの自動車保有台数の推移（H11～H21）を見ると、牟岐町と美波町において緩やかな増加傾向にあるが、近年は横ばいである。
- 1 世帯あたりの自動車保有台数（H21）は、徳島県全体が 1.93 台/世帯であるのに対して、牟岐町 1.56 台/世帯、美波町 1.73 台/世帯、海陽町 1.83 台/世帯と少ない。

<自動車保有台数の推移（H11～H21）>



<世帯あたり自動車保有台数の推移（H11～21）>



出典) 自動車保有台数「市区町村別自動車保有車両数」(財団法人自動車検査登録情報協会) 各年 3 月末現在
「市区町村別軽自動車車両数」(社団法人全国軽自動車協会連合会) 各年 3 月末現在
世帯数「徳島県推計人口」(徳島県) 各年 4 月 1 日現在
なお、H11 と H12 のみ 1 月 1 日現在(「徳島県人口移動調査」(徳島県))

b) 地域間流動の変化

■通勤流動

- ・ 牟岐町・海陽町の両地域と他地域との通勤流動としては、美波町が 36.6%と最も高く、阿南市方面や徳島市方面への流動を含めると 67.9%を占める。
- ・ 平成 12 年から平成 17 年の推移を見ると、海部郡に隣接する地域との流動は、阿南市 1.21 倍、那賀郡 1.64 倍、安芸地方生活圏 1.14 倍と増加傾向にある。
- ・ 牟岐バイパスの整備により、海部郡内や隣接する阿南市等との結びつきが強化されることが期待される。

<牟岐町・海陽町に関連する地域間通勤流動（H17）>



地域間		H12		H17		H17/H12 の伸び
		通勤者数 (人/日)	割合	通勤者数 (人/日)	割合	
牟岐町 海陽町	牟岐町・海陽町	7,654	—	6,898	—	0.90
	美波町	537	36.8%	534	36.6%	0.99
	阿南市	239	16.4%	288	19.7%	1.21
	那賀郡	25	1.7%	41	2.8%	1.64
	徳島県北東部	152	10.4%	169	11.6%	1.11
	その他徳島県	15	1.0%	20	1.4%	1.33
	安芸地方生活圏	321	22.0%	365	25.0%	1.14
	その他徳島県外	171	11.7%	101	6.9%	0.59
	合計	9,114	100.0%	8,416	100.0%	0.92

注) 那賀郡（那賀町）

徳島県北東部（徳島市、鳴門市、小松島市、板野郡）

その他徳島県（海部郡、阿南市、那賀郡、徳島県北東部を除く市町）

安芸地方生活圏（高知県室戸市、安芸市、安芸郡）

その他徳島県外（安芸地方生活圏を除く徳島県以外の都道府県）

割合は牟岐町・海陽町内々を除く割合

出典）「国勢調査」（総務省統計局）

■自動車 OD 量

- 牟岐町・海陽町の両地域から他地域との自動車交通流動のうち、美波町との流動が33.6%と最も多く、阿南市方面や徳島市方面への流動を含めると66.9%（約5,200台トリップ/日）を占める。
- 高知県の安芸地方生活圏との結びつきも強く、流動が22.3%となっている。

＜牟岐町・海陽町に関連する地域間自動車交通量（H17）＞



凡 例	
--- 県境	自動車OD量（流出入計）
— 市町村境	1,000台トリップ/日 以下
	1,000～2,000台トリップ/日
	2,000台トリップ/日 以上

※徳島県外（安芸地方生活圏以外）との流動及び内々は除く。

地域間		H17	
		自動車OD量 （台トリップ/日）	割合
牟岐町 海陽町	牟岐町・海陽町	18,555	—
	美波町	2,588	33.6%
	阿南市	1,465	19.0%
	那賀郡	40	0.5%
	徳島県北東部	1,104	14.3%
	その他徳島県	81	1.1%
	安芸地方生活圏	1,722	22.3%
	その他徳島県外	707	9.2%
	合計	26,262	100.0%

注）那賀郡（那賀町）

徳島県北東部（徳島市、鳴門市、小松島市、板野郡）

その他徳島県（海部郡、阿南市、那賀郡、徳島県北東部を除く市町）

安芸地方生活圏（高知県室戸市、安芸市、安芸郡）

その他徳島県外（安芸地方生活圏を除く徳島県以外の都道府県）

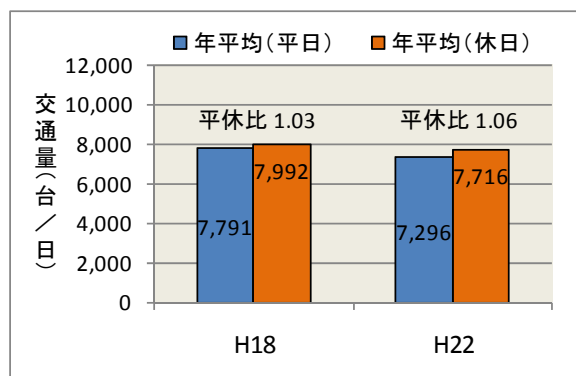
割合は牟岐町・海陽町内々を除く割合

出典）「道路交通センサス（平成17年度）自動車起終点調査」（国土交通省）

c) 現道の交通状況の変化

- 当該地域における国道 55 号の交通量は、平成 18 年から平成 22 年にかけて大きな変動はなく、ほぼ横ばい傾向となっている。
- 常時観測データ（海陽町浅川）の平日と休日の交通量を比較すると、平休比は 1.0 を超えており、マリンスポーツ等が盛んで休日の交通が多いと考えられる。

<常時観測地点データ（浅川：H18・H22）>



出典) 国土交通省

<現国道 55 号沿線における主な観光資源等>



出典) 徳島県観光情報サイト 阿波ナビ(「竹ヶ島シーカヤック」サイト)
徳島県より提供(※内妻海岸)

4.1.3. 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化等

■ 周辺道路の供用

- 平成 5 年 8 月
～平成 19 年 12 月 阿南道路 延長 15.5km 供用
- 平成 19 年 5 月 日和佐道路（由岐 IC～美波町北河内）L=6.2km 部分供用

■ その他

- 平成 17 年 4 月 道の駅「日和佐」開駅
- 平成 19 年 5 月 徳島県南部健康運動公園（アグリあなんスタジアム）開園
- 平成 22 年 5 月 徳島県立南部防災館（海陽町浅川）開館

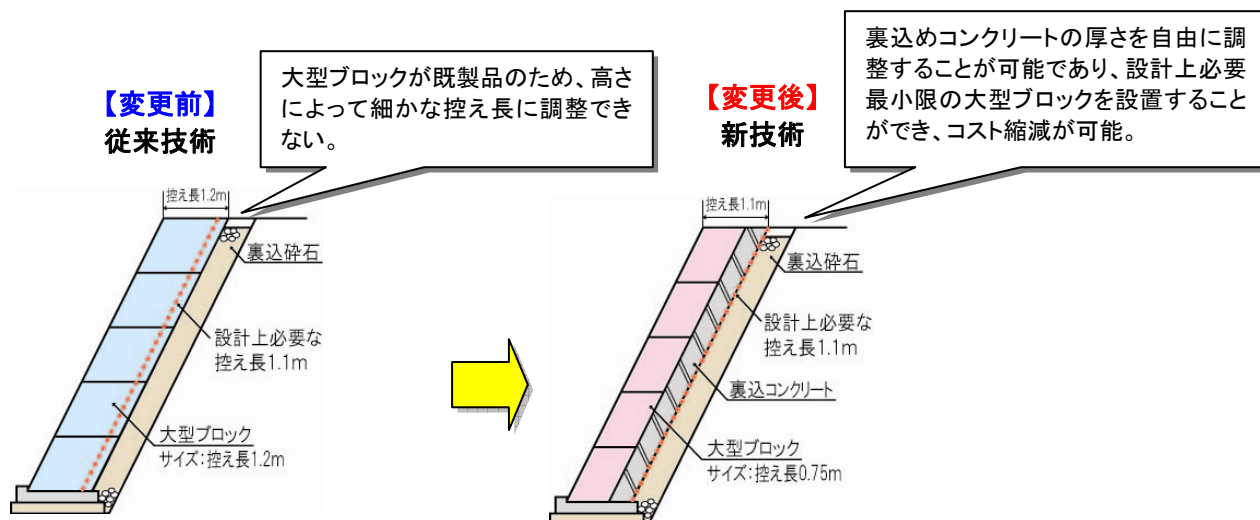


4.2. コスト縮減

大型ブロック積み擁壁の新技术活用や、箱型函渠工の設計の見直しを行うことにより、約 0.4 億円のコスト縮減

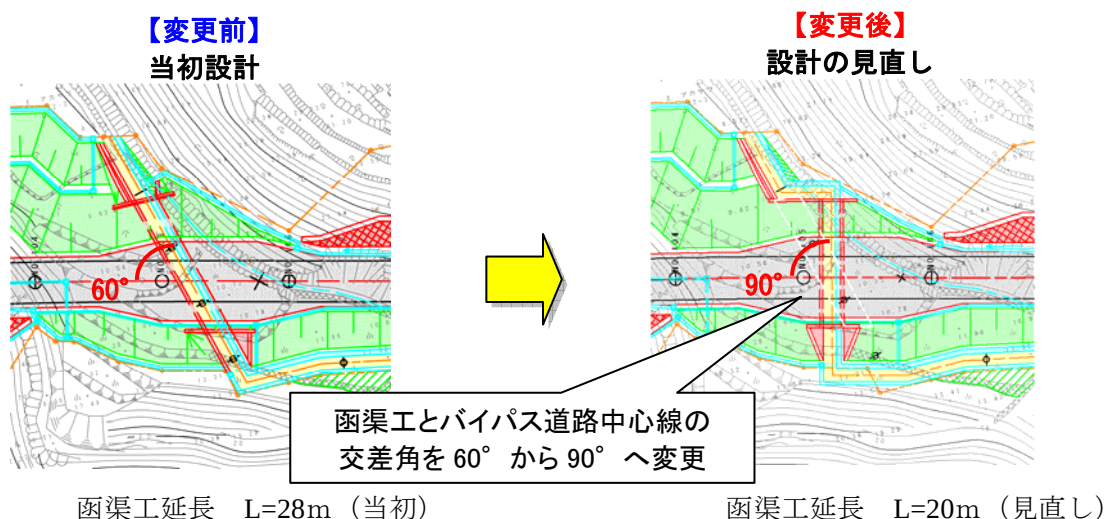
(1) 大型ブロック積み擁壁の新技术によるコスト縮減

- 大型ブロック積み擁壁の設計において、裏込コンクリートを用いた新工法を用いることで、約 40 百万円のコスト縮減を図る。



(2) 函渠工の設計の見直しによるコスト縮減

- 斜角がある函渠工の設置方向を直角にすることで、函渠工の延長を短くし、約 1.5 百万円のコスト縮減を図る。



■ 今後のコスト縮減に対する取り組み

- 今後も実施設計を進める中で、新技术、新工法を積極的に活用し、工事コストの一層の縮減を図るとともに、ライフサイクルコストに留意して、維持管理費の縮減等、総コストの縮減に努めていくこととする。

4.3. 事業の投資効果

■ 費用対効果分析

項目		額
費用	事業全体	60 億円
	残事業	51.6 億円
効果	災害時の迂回解消を含めた走行時間短縮等	51.9 億円
	走行時間短縮便益	32 億円
	走行経費減少便益	10 億円
	交通事故減少便益	3.3 億円
	東南海・南海地震による通行止め影響	6.3 億円
	休日交通の影響	0.47 億円
	災害による被害の回避	
	東南海・南海地震の津波等による経済損失(物流損失等) (通行止め日数 12 日とした場合の SCGE による物流損失等)	0.57 億円
	東南海・南海地震の津波等による経済損失(営業損失等) (通行止め日数 12 日とした場合の営業損失等)	1.4 億円
	東南海・南海地震の津波等による通行被害	11 億円
	地域住民の不安感の解消	
	東南海・南海地震の津波等の不安感の解消(今後 30 年以内に 60～70%の確率で発生)	
	通過交通がバイパスに転換することで歩行者等の安心感の向上	

■ その他効果

<産業>

- 海部郡～京阪神地域へのアクセス向上による農水産業などの地域産業を支援

<医療>

- 救急車が現場到達に要する時間が短縮

4.4. 将来交通量変動要因

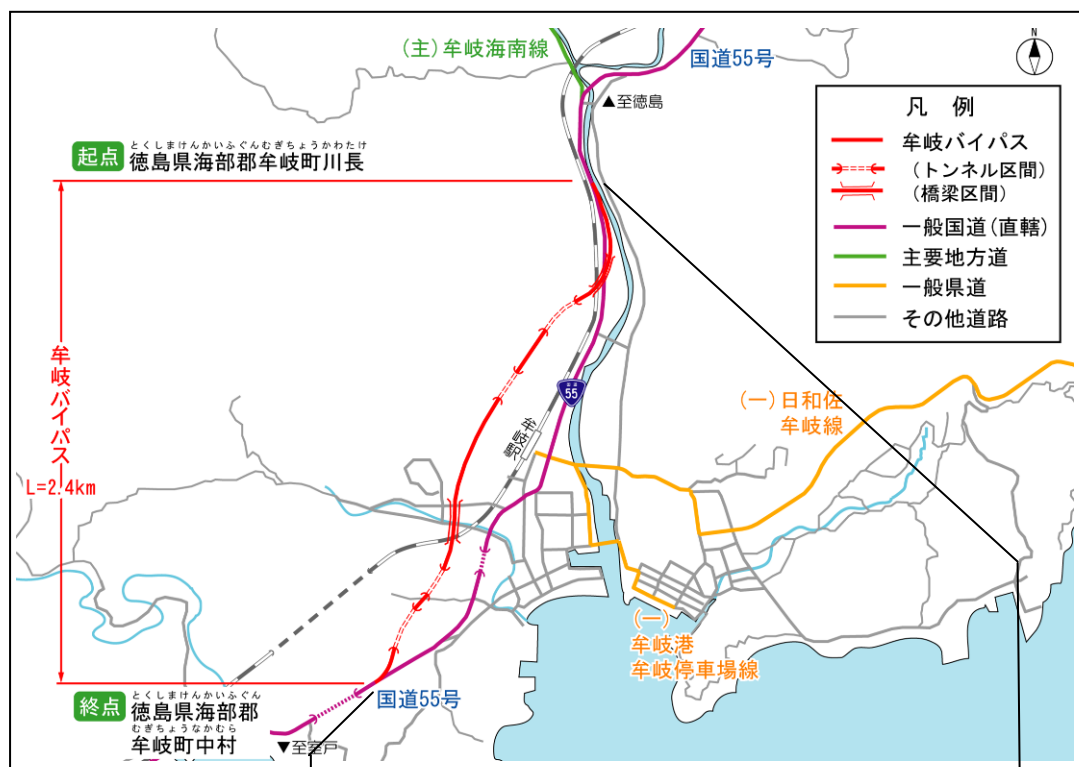
(1) 将来交通需要推計手法の見直し

- 各分野^{※1}の将来フレーム（人口、経済成長）の入力値を統一
- 各分野の生成交通量推計モデルの改善し統一
- 各分野のネットワーク設定は、現況に加え、事業化済みの箇所を考慮するなど需要推計に係る条件設定の統一
- 道路分野においては、地域内交通の乗用車分担率について、旅客地域流動調査等における乗用車分担率の実績値を将来に適用する。
また平均利用・輸送距離について、平均利用・輸送距離の現況値を将来に適用する。

上記の要因により、推計交通量は6,700台／日から5,200台／日に減少している。

※1) 分野とは、道路・鉄道・港湾・空港の4分野を示す。

4.5. 事業の進捗状況



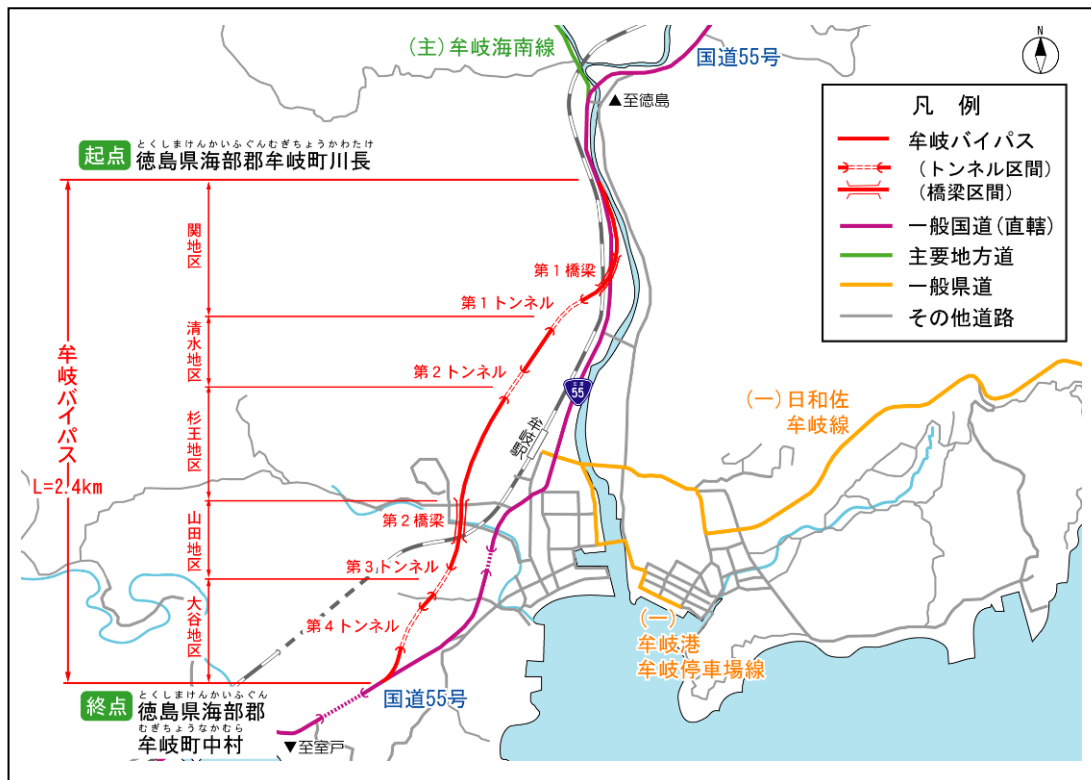
延長	2.4km
現状	調査設計、用地調査
用地進捗率	0%
事業進捗率	約12%(用地幅杭設置率 約67%)

注) 用地取得率及び事業進捗率は、平成 22 年 12 月末時点のものである。

5. 事業の進捗見込みの視点

- 牟岐バイパスは、平成 22 年 12 月末時点で全区間設計協議には着手済みであり、用地幅杭についての設置率は 67% である。

<事業概要図>



6. 代替案立案等の可能性の視点

- 牟岐バイパスの計画は、東南海・南海地震により予測される牟岐町市街地内の津波浸水区間を回避し、現道沿道における建物立地状況等から拡幅が困難であること等、事業実施にあたっての制約条件との整合性を勘案し選定された合理的な計画であり、現ルートによる整備が妥当である。

7. 地方公共団体からの意見

- 周辺の自治体等から、本事業の積極的な整備促進について要望活動が続けられている。

＜牟岐バイパスの整備促進に関する要望活動について＞

年月日	内 容	団体名
平成 21 年 5 月	要望活動	徳島県
平成 21 年 9 月	要望活動	徳島県議会四国横断自動車道建設促進議員連盟 徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟 国道 55 号バイパス建設促進県議会議員協議会
平成 21 年 12 月	要望活動	四国の道を考える会牟岐大会推進協議会
平成 22 年 2 月	要望活動	徳島県町村議会議長会
平成 22 年 5 月	要望活動	徳島県
平成 22 年 10 月	要望活動	徳島県議会四国横断自動車道建設促進議員連盟 徳島県議会徳島自動車道整備促進議員連盟 国道 55 号バイパス建設促進県議会議員協議会

8. 対応方針(原案)

①再評価の視点

(1) 事業の必要性に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- 東南海・南海地震により、牟岐町市街地で津波浸水被害が発生し現道が寸断すると予想。
- 牟岐町や海陽町では、救急搬送のうち全体の約 17%を阿南市以北の救急医療機関に搬送せざるを得ない状況。
- 牟岐町市街地では、現国道 55 号の狭小な路肩や歩道が小・中学校の通学路に指定。
- 観光地へのアクセス向上が課題で、周遊できるネットワークの整備が求められている。
- 沿線市町村の人口は減少傾向、1 世帯あたり自動車保有台数は横ばい傾向で自動車依存が高い。

等

2) 事業の投資効果

- バイパスの整備により、県南地域の命の道として孤立集落の解消が期待され、災害時の救急活動や迅速な復旧支援が可能となる。
- 第三次医療施設へのアクセスが向上し、重篤患者の搬送環境の向上や地域住民の安心感の向上が期待される。
等、防災上の効果が期待される。
- 通過交通のバイパスへの転換により、市街地内において快適・安全な生活空間の確保が期待される。
- マリンスポーツ等が盛んな県南地域へのアクセスが向上し、観光振興の支援が期待される。
- 農林水産品の流通の利便性が向上し、京阪神地域をはじめ全国への流通拡大による知名度・商品価値の向上が期待される。
等、様々な効果が期待される。

◆費用対効果分析

- 費用 事業全体 60 億円 残事業 52 億円
- 効果 災害時の迂回解消を含めた走行時間短縮等 52 億円
- 東南海・南海地震の津波等による経済損失（物流損失等） 0.57 億円
- 東南海・南海地震の津波等による経済損失（営業損失等） 1.4 億円
- 東南海・南海地震の津波等による通行被害 11 億円
- 地域住民の不安感の解消 等

3) 事業の進捗状況

- 用地取得率は 0%（平成 22 年 12 月末時点）
- 事業進捗率は約 12%（平成 22 年 12 月末時点）

(2) 事業進捗の見込みの視点

事業進捗見込み

- 全区間設計協議に着手済み（平成 22 年 12 月末時点）
- 幅杭設置率は 67%（平成 22 年 12 月末時点）

(3) コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性

- 大型ブロック積み擁壁の新技术の活用や、箱型函渠工の設計の見直しにより約 0.4 億円のコスト縮減
- 今後も実施設計を進める中で、新技术、新工法を積極的に活用し、工事コストの一層の縮減を図るとともに、ライフサイクルコストに留意して、総コストの縮減に努めていく。
- 牟岐バイパスの計画は、牟岐町市街地内の津波浸水被害を回避し、沿道の建物立地状況等から拡幅が困難であること等の制約条件との整合性を勘案し選定された合理的な計画であり、現ルートによる整備が妥当である。

②地方公共団体の意見

徳島県知事意見

○一般国道 5 5 号牟岐バイパスに対する意見

「牟岐バイパス」の事業を継続するという「対応方針（原案）案」については、異議ありません。

県南地域においては、今後 30 年以内に 60% 程度の確率で発生すると予測されている南海地震では、大規模な津波が発生し、唯一の幹線道路である一般国道 5 5 号が寸断され、沿岸地域の孤立が危惧されております。

「牟岐バイパス」は、地震発生時の緊急輸送道路の確保や救急患者の三次救急医療機関への搬送時間の短縮に資する「命の道」として、また、牟岐町市街地での線形不良・狹隘区間解消による安全の確保や交通混雑の緩和になくなくてはならない道路です。

加えて、本県の豊かな農水産物を都市部へ速やかに安定に供給するための「物流の道」として、更には、美しい自然を活かした観光振興など、地域の活性化に資する重要な道路であります。

このため、引き続き、コスト縮減を推進し、事業の着実な実施をお願いします。

○評価手法等の改善に対する意見

先に、日和佐道路の再評価に関する意見照会（平成 23.2.22 国四整企画第 1039 号）に対する回答（平成 23.3.4 高第 100055 号）のとおり、評価手法等の改善をお願いします。

以下、平成 23.3.4 高第 100055 号の回答文

今回の評価における将来交通需要推計は、現況と事業中の区間に限定したネットワークによるものであり、道路の未整備区間を多く抱える本県においては、便益算出の基礎となる将来交通需要が過小に推計されております。

また、従来の 3 便益のみによる評価手法では、地方の道路が持つ「多様な効果」が反映されておらず、道路の整備効果が十分に評価されていない面もあると考えております。

そこで、適切な評価のためには、国土ミッシングリンクを含めた道路ネットワークにより将来交通需要推計を行うこととし、また、本県が従来より提言してきた「救急救命向上便益」や「災害予防便益」など、貨幣価値換算が可能でかつ合理性が認められる効果を 3 便益に追加するとともに、「生鮮食品消費者還元効果」や「企業立地による雇用創出効果」、「観光交流促進効果」など、貨幣価値換算が困難な効果についても十分踏まえるなど、地域の実情や固有の課題を適切に評価できる「新たな事業評価方法」の策定・導入をお願いします。



【今後の対応方針（原案）】

以上のことから牟岐バイパスの事業を継続する

県への意見照会と回答



国四整企画第1042号

平成23年 3月 3日

徳島県知事 殿

四国地方整備局長



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

平素より国土交通省直轄事業の推進にあたり、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、四国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年3月11日に第5回委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年3月9日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

四国地方整備局 企画部 企画課 企画第一係

電話 087-811-8308

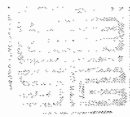
FAX 087-811-8408

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道32号 猪ノ鼻道路	継続	
一般国道55号 牟岐バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

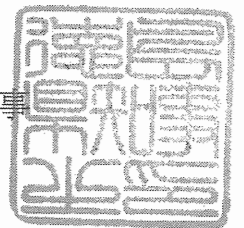


高第100056号

平成23年3月9日

四国地方整備局長 殿

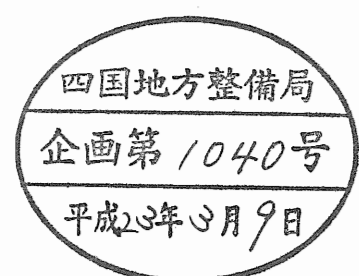
徳島県知事



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について (平成23.3.3国四整企画第1042号に対する回答)

日頃から本県発展の基盤となる社会資本整備の推進につきまして、多大な御
尽力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、先に照会がありましたこのことについての意見は別添のとおりです。



○一般国道３２号 猪ノ鼻道路に対する意見

「猪ノ鼻道路」の事業を継続するという「対応方針（原案）案」については、異議ありません。

一般国道３２号は、徳島と香川、高知を結ぶ主要幹線道路であり、県西部の産業、文化を育む重要な道路であります。

しかしながら、徳島・香川県境に位置する猪ノ鼻峠付近は、大雨による事前通行規制や冬期の凍結や積雪による通行障害、線形不良による交通事故の多発など、安全性、定時性に大きな問題を抱えております。

「猪ノ鼻道路」は、これらの問題を解消し、日常の安全で安心な暮らしを支えるとともに、災害時には緊急輸送の要としてなくてはならない道路であり、また「にし阿波観光圏」による観光振興など地域活性化にも資する、重要な道路であります。

このため、引き続き、コスト縮減を推進し、事業の着実な実施をお願いします。

○一般国道５５号 牟岐バイパスに対する意見

「牟岐バイパス」の事業を継続するという「対応方針（原案）案」については、異議ありません。

県南地域においては、今後３０年以内に６０％程度の確率で発生すると予測されている南海地震では、大規模な津波が発生し、唯一の幹線道路である一般国道５５号が寸断され、沿岸地域の孤立が危惧されております。

「牟岐バイパス」は、地震発生時の緊急輸送道路の確保や救急患者の三次救急医療機関への搬送時間の短縮に資する「命の道」として、また、牟岐町市街地での線形不良・狹隘区間解消による安全の確保や交通混雑の緩和になくてはならない道路です。

加えて、本県の豊かな農水産物を都市部へ速やかに安定に供給するための「物流の道」として、更には、美しい自然を活かした観光振興など、地域の活性化に資する重要な道路であります。

このため、引き続き、コスト縮減を推進し、事業の着実な実施をお願いします。

○評価手法等の改善に対する意見

先に、日和佐道路の再評価に関する意見照会（平成23. 2. 22国四整企画第1039号）に対する回答（平成23. 3. 4高第100055号）のとおり、評価手法等の改善をお願いします。

費用対効果分析資料

(再評価)

様式－２

費用と便益の内容

※便益は、災害時の迂回解消・休日交通を含めた走行時間の短縮 等

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道５５号	牟岐バイパス	L= 2.4 km	二次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
5,200	2	四国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	67億円	11億円	78億円
うち残事業分	59億円	11億円	70億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	56億円	3.7億円	60億円
うち残事業分	48億円	3.7億円	51.6億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成30年度			
単年便益 (初年便益)	3.4億円	1.01億円	0.23億円	4.6億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	37億円	12億円	3.3億円	51.9億円
うち残事業分	37億円	12億円	3.3億円	51.9億円

交通状況の変化

様式－3①

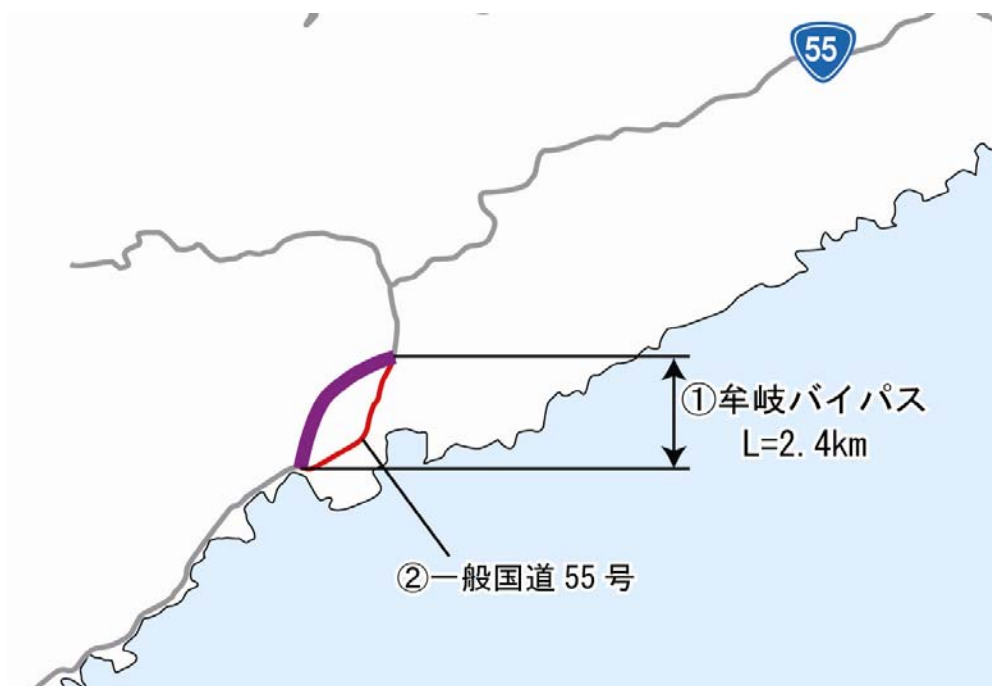
事業名：牟岐バイパス（事業全体）

（推計時点 H 4 2 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路		交通量	[台/日]	5,153	
一般国道55号 牟岐バイパス		走行時間	[分]	2	
延長：2.4km		走行時間費用	[億円/年]	2.23	
②主な周辺道路	一般国道55号 延長：2.6km	交通量	[台/日]	5,288	486
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	4.65	0.42
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：0.0km		走行時間費用	[億円/年]		

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
延長：5.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4.65	2.65	2.00

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式－３①

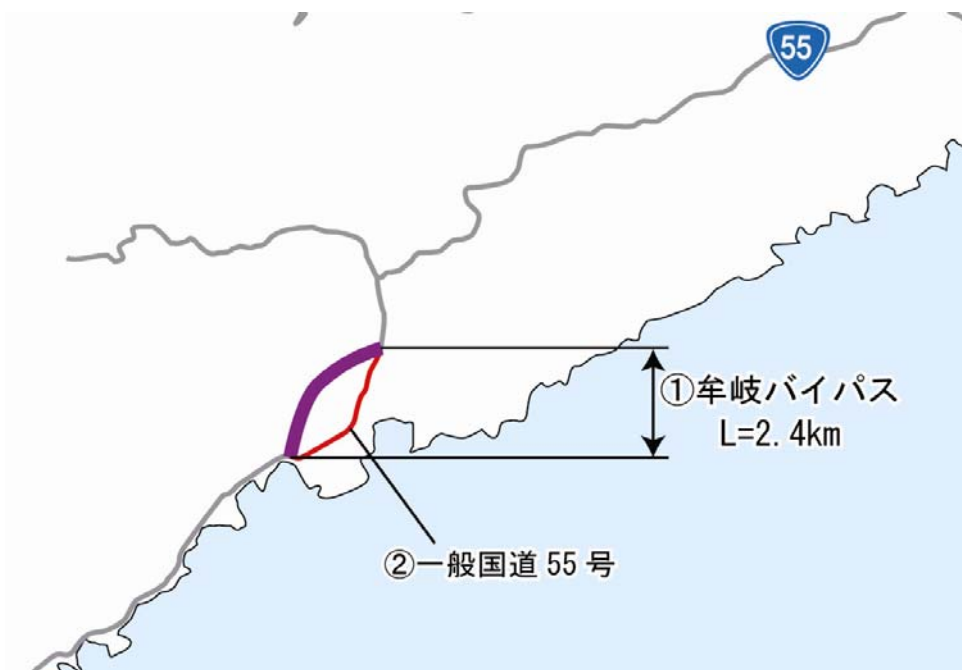
事業名：牟岐バイパス（残事業）

（推計時点 H 4 2 年）

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路		交通量	[台/日]	5,153	
一般国道５５号 牟岐バイパス		走行時間	[分]	2	
延長：2.4km		走行時間費用	[億円/年]	2.23	
②主な周辺道路	一般国道55号 延長：2.6km	交通量	[台/日]	5,288	486
		走行時間	[分]	5	5
		走行時間費用	[億円/年]	4.65	0.42
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 延長：0.0km		走行時間費用	[億円/年]		

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
延長：5.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4.65	2.65	2.00

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



算出の条件

事業名：牟岐バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成22年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (H42)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
	推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)		☒ (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)		☐
		その他()		☐
				☐
	開発交通量の 考慮	無		☒
		有		☐
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	() 台トリップ/日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
簡易手法の 採択理由		小規模事業である	☐	
		山間部海岸部で併行道路が少ない	☐	
		その他()		
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載		☐	
	最終配分の速度 採用理由を記載		☐	
	その他(最終配分交通量とQV式の関係から平均速度を設定)		☒	

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	☐	
		考慮する	☒	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	☒
			対象路線のみ考慮	☐
			採用した休日係数	(107)%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載 行楽シーズンの各月の交通量の比を採用	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	☐	
		考慮する	☒	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数	(12) 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載 過去に発生した事例を採用	
			とり止め交通を考慮する	☐
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載 迂回路が存在するため	
	冬期交通の 影響	考慮しない	☒	
		考慮する	☐	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数	() 日
			採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	☒	
		その他 ()	☐	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒	
		独自に設定した値を使用	☐	
算出根拠を添付すること				
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	☒		
	独自に設定した値を使用	☐		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮 ※対象路線のみ	☒		
	中央分離帯の有無を考慮しない	☐		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	☒		
	考慮する	☐		
	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)			
その他				

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他()	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		徳島河川国道事務所の実績値より設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐
その他			

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含まない)

箇所名: 牟岐バイパス(事業全体)

採用単価の根拠		一般国道(直轄)雪寒費除く
単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.095	2.4	0.23

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-14年目	H 16	1.2653	94.4	0.19	0.23		
-13年目	H 17	1.2167	93.2	0.19	0.23		
-12年目	H 18	1.1699	92.5	0.19	0.22		
-11年目	H 19	1.1249	91.7	3.28	3.67		
-10年目	H 20	1.0816	91.3	1.85	2.00		
-9年目	H 21	1.0400	91.3	1.73	1.80		
-8年目	H 22	1.0000	91.3	0.37	0.37		
-7年目	H 23	0.9615	91.3	1.90	1.83		
-6年目	H 24	0.9246	91.3	2.20	2.04		
-5年目	H 25	0.8890	91.3	6.94	6.17		
-4年目	H 26	0.8548	91.3	10.36	8.85		
-3年目	H 27	0.8219	91.3	8.02	6.59		
-2年目	H 28	0.7903	91.3	11.31	8.94		
-1年目	H 29	0.7599	91.3	18.16	13.80		
完成供用開始年次	H 30	0.7307	91.3			0.23	0.17
1年目	H 31	0.7026	91.3			0.23	0.16
2年目	H 32	0.6756	91.3			0.23	0.15
3年目	H 33	0.6496	91.3			0.23	0.15
4年目	H 34	0.6246	91.3			0.23	0.14
5年目	H 35	0.6006	91.3			0.23	0.14
6年目	H 36	0.5775	91.3			0.23	0.13
7年目	H 37	0.5553	91.3			0.23	0.13
8年目	H 38	0.5339	91.3			0.23	0.12
9年目	H 39	0.5134	91.3			0.23	0.12
10年目	H 40	0.4936	91.3			0.23	0.11
11年目	H 41	0.4746	91.3			0.23	0.11
12年目	H 42	0.4564	91.3			0.23	0.10
13年目	H 43	0.4388	91.3			0.23	0.10
14年目	H 44	0.4220	91.3			0.23	0.10
15年目	H 45	0.4057	91.3			0.23	0.09
16年目	H 46	0.3901	91.3			0.23	0.09
17年目	H 47	0.3751	91.3			0.23	0.09
18年目	H 48	0.3607	91.3			0.23	0.08
19年目	H 49	0.3468	91.3			0.23	0.08
20年目	H 50	0.3335	91.3			0.23	0.08
21年目	H 51	0.3207	91.3			0.23	0.07
22年目	H 52	0.3083	91.3			0.23	0.07
23年目	H 53	0.2965	91.3			0.23	0.07
24年目	H 54	0.2851	91.3			0.23	0.06
25年目	H 55	0.2741	91.3			0.23	0.06
26年目	H 56	0.2636	91.3			0.23	0.06
27年目	H 57	0.2534	91.3			0.23	0.06
28年目	H 58	0.2437	91.3			0.23	0.06
29年目	H 59	0.2343	91.3			0.23	0.05
30年目	H 60	0.2253	91.3			0.23	0.05
31年目	H 61	0.2166	91.3			0.23	0.05
32年目	H 62	0.2083	91.3			0.23	0.05
33年目	H 63	0.2003	91.3			0.23	0.05
34年目	H 64	0.1926	91.3			0.23	0.04
35年目	H 65	0.1852	91.3			0.23	0.04
36年目	H 66	0.1780	91.3			0.23	0.04
37年目	H 67	0.1712	91.3			0.23	0.04
38年目	H 68	0.1646	91.3			0.23	0.04
39年目	H 69	0.1583	91.3			0.23	0.04
40年目	H 70	0.1522	91.3			0.23	0.03
41年目	H 71	0.1463	91.3			0.23	0.03
42年目	H 72	0.1407	91.3			0.23	0.03
43年目	H 73	0.1353	91.3			0.23	0.03
44年目	H 74	0.1301	91.3			0.23	0.03
45年目	H 75	0.1251	91.3			0.23	0.03
46年目	H 76	0.1203	91.3			0.23	0.03
47年目	H 77	0.1157	91.3			0.23	0.03
48年目	H 78	0.1112	91.3			0.23	0.03
49年目	H 79	0.1069	91.3	-3.35	-0.36	0.23	0.02
合 計				63.36	56.40	11.40	3.72

単純事業費計		66.71	11.40
--------	--	-------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含まない)

箇所名: 牟岐バイパス(残事業)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)雪寒費除く		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.095	2.4	0.23

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H 23	0.9615	91.3	1.90	1.83		
-6年目	H 24	0.9246	91.3	2.20	2.04		
-5年目	H 25	0.8890	91.3	6.94	6.17		
-4年目	H 26	0.8548	91.3	10.36	8.85		
-3年目	H 27	0.8219	91.3	8.02	6.59		
-2年目	H 28	0.7903	91.3	11.31	8.94		
-1年目	H 29	0.7599	91.3	18.16	13.80		
完成供用開始年次	H 30	0.7307	91.3			0.23	0.17
1年目	H 31	0.7026	91.3			0.23	0.16
2年目	H 32	0.6756	91.3			0.23	0.15
3年目	H 33	0.6496	91.3			0.23	0.15
4年目	H 34	0.6246	91.3			0.23	0.14
5年目	H 35	0.6006	91.3			0.23	0.14
6年目	H 36	0.5775	91.3			0.23	0.13
7年目	H 37	0.5553	91.3			0.23	0.13
8年目	H 38	0.5339	91.3			0.23	0.12
9年目	H 39	0.5134	91.3			0.23	0.12
10年目	H 40	0.4936	91.3			0.23	0.11
11年目	H 41	0.4746	91.3			0.23	0.11
12年目	H 42	0.4564	91.3			0.23	0.10
13年目	H 43	0.4388	91.3			0.23	0.10
14年目	H 44	0.4220	91.3			0.23	0.10
15年目	H 45	0.4057	91.3			0.23	0.09
16年目	H 46	0.3901	91.3			0.23	0.09
17年目	H 47	0.3751	91.3			0.23	0.09
18年目	H 48	0.3607	91.3			0.23	0.08
19年目	H 49	0.3468	91.3			0.23	0.08
20年目	H 50	0.3335	91.3			0.23	0.08
21年目	H 51	0.3207	91.3			0.23	0.07
22年目	H 52	0.3083	91.3			0.23	0.07
23年目	H 53	0.2965	91.3			0.23	0.07
24年目	H 54	0.2851	91.3			0.23	0.06
25年目	H 55	0.2741	91.3			0.23	0.06
26年目	H 56	0.2636	91.3			0.23	0.06
27年目	H 57	0.2534	91.3			0.23	0.06
28年目	H 58	0.2437	91.3			0.23	0.06
29年目	H 59	0.2343	91.3			0.23	0.05
30年目	H 60	0.2253	91.3			0.23	0.05
31年目	H 61	0.2166	91.3			0.23	0.05
32年目	H 62	0.2083	91.3			0.23	0.05
33年目	H 63	0.2003	91.3			0.23	0.05
34年目	H 64	0.1926	91.3			0.23	0.04
35年目	H 65	0.1852	91.3			0.23	0.04
36年目	H 66	0.1780	91.3			0.23	0.04
37年目	H 67	0.1712	91.3			0.23	0.04
38年目	H 68	0.1646	91.3			0.23	0.04
39年目	H 69	0.1583	91.3			0.23	0.04
40年目	H 70	0.1522	91.3			0.23	0.03
41年目	H 71	0.1463	91.3			0.23	0.03
42年目	H 72	0.1407	91.3			0.23	0.03
43年目	H 73	0.1353	91.3			0.23	0.03
44年目	H 74	0.1301	91.3			0.23	0.03
45年目	H 75	0.1251	91.3			0.23	0.03
46年目	H 76	0.1203	91.3			0.23	0.03
47年目	H 77	0.1157	91.3			0.23	0.03
48年目	H 78	0.1112	91.3			0.23	0.03
49年目	H 79	0.1069	91.3	-3.35	-0.36	0.23	0.02
合 計				55.56	47.88	11.40	3.72

単純事業費計		58.91	11.40
--------	--	-------	-------

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：牟岐バイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
完成供用開始年次	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7307	91.3	1.98	0.72	0.70	3.40	2.48	0.61	0.18	0.22	1.01	0.74	0.23	0.17	4.64	3.39
1年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7026	91.3	1.96	0.72	0.69	3.37	2.37	0.60	0.18	0.22	1.00	0.70	0.23	0.16	4.60	3.23
2年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.6756	91.3	1.40	0.52	0.52	2.44	1.65	0.47	0.13	0.16	0.77	0.52	0.23	0.15	3.43	2.32
3年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6496	91.3	1.39	0.51	0.52	2.43	1.58	0.47	0.13	0.16	0.76	0.50	0.22	0.15	3.41	2.22
4年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6246	91.3	1.39	0.51	0.52	2.41	1.51	0.47	0.13	0.16	0.76	0.47	0.22	0.14	3.40	2.12
5年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6006	91.3	1.38	0.50	0.52	2.40	1.44	0.47	0.13	0.16	0.75	0.45	0.22	0.13	3.38	2.03
6年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.5775	91.3	1.37	0.50	0.52	2.39	1.38	0.46	0.13	0.16	0.75	0.43	0.22	0.13	3.36	1.94
7年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5553	91.3	1.37	0.49	0.52	2.38	1.32	0.46	0.12	0.16	0.75	0.41	0.22	0.12	3.34	1.86
8年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5339	91.3	1.36	0.48	0.52	2.36	1.26	0.46	0.12	0.16	0.74	0.40	0.22	0.12	3.32	1.77
9年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5134	91.3	1.35	0.48	0.52	2.35	1.21	0.46	0.12	0.16	0.74	0.38	0.22	0.11	3.31	1.70
10年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.4936	91.3	1.35	0.47	0.52	2.34	1.15	0.46	0.12	0.16	0.74	0.36	0.21	0.11	3.29	1.62
11年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4746	91.3	1.34	0.47	0.52	2.32	1.10	0.45	0.12	0.16	0.73	0.35	0.21	0.10	3.27	1.55
12年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4564	91.3	1.33	0.46	0.52	2.31	1.05	0.45	0.12	0.16	0.73	0.33	0.21	0.10	3.25	1.48
13年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4388	91.3	1.32	0.46	0.52	2.30	1.01	0.45	0.12	0.16	0.72	0.32	0.21	0.09	3.23	1.42
14年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4220	91.3	1.31	0.46	0.52	2.28	0.96	0.44	0.12	0.16	0.72	0.30	0.21	0.09	3.21	1.35
15年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4057	91.3	1.29	0.45	0.52	2.27	0.92	0.44	0.11	0.16	0.71	0.29	0.21	0.08	3.19	1.29
16年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.3901	91.3	1.28	0.45	0.52	2.25	0.88	0.43	0.11	0.16	0.71	0.28	0.21	0.08	3.16	1.23
17年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3751	91.3	1.27	0.45	0.52	2.24	0.84	0.43	0.11	0.16	0.70	0.26	0.20	0.08	3.14	1.18
18年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3607	91.3	1.26	0.44	0.52	2.22	0.80	0.42	0.11	0.16	0.70	0.25	0.20	0.07	3.12	1.13
19年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3468	91.3	1.24	0.44	0.52	2.21	0.77	0.42	0.11	0.16	0.69	0.24	0.20	0.07	3.10	1.08
20年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3335	91.3	1.23	0.44	0.52	2.19	0.73	0.42	0.11	0.16	0.69	0.23	0.20	0.07	3.08	1.03
21年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3207	91.3	1.22	0.43	0.52	2.18	0.70	0.41	0.11	0.16	0.68	0.22	0.20	0.06	3.06	0.98
22年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3083	91.3	1.11	0.40	0.49	2.00	0.62	0.39	0.10	0.15	0.64	0.20	0.20	0.06	2.83	0.87
23年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.2965	91.3	1.10	0.40	0.49	1.99	0.59	0.38	0.10	0.15	0.63	0.19	0.19	0.06	2.81	0.83
24年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2851	91.3	1.09	0.39	0.49	1.97	0.56	0.38	0.10	0.15	0.63	0.18	0.19	0.05	2.79	0.80
25年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2741	91.3	1.07	0.39	0.49	1.96	0.54	0.37	0.10	0.15	0.62	0.17	0.19	0.05	2.77	0.76
26年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2636	91.3	1.06	0.39	0.49	1.95	0.51	0.37	0.10	0.15	0.62	0.16	0.19	0.05	2.75	0.73
27年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2534	91.3	1.05	0.39	0.50	1.93	0.49	0.37	0.10	0.15	0.62	0.16	0.19	0.05	2.73	0.69
28年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2437	91.3	1.04	0.38	0.50	1.92	0.47	0.36	0.10	0.15	0.61	0.15	0.19	0.05	2.71	0.66
29年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2343	91.3	1.03	0.38	0.50	1.90	0.45	0.36	0.10	0.15	0.61	0.14	0.18	0.04	2.69	0.63
30年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2253	91.3	1.02	0.38	0.50	1.89	0.43	0.35	0.10	0.15	0.60	0.14	0.18	0.04	2.67	0.60
31年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2166	91.3	1.00	0.37	0.50	1.88	0.41	0.35	0.09	0.15	0.60	0.13	0.18	0.04	2.65	0.58
32年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2083	91.3	0.99	0.37	0.50	1.86	0.39	0.35	0.09	0.15	0.59	0.12	0.18	0.04	2.63	0.55
33年目	H 63	0.98820	0.99218	1.00168	0.99058	0.2003	91.3	0.98	0.37	0.50	1.85	0.37	0.34	0.09	0.15	0.59	0.12	0.18	0.04	2.61	0.52
34年目	H 64	0.98809	0.99213	1.00168	0.99050	0.1926	91.3	0.97	0.37	0.50	1.84	0.35	0.34	0.09	0.15	0.58	0.11	0.17	0.03	2.59	0.50
35年目	H 65	0.98797	0.99208	1.00167	0.99043	0.1852	91.3	0.96	0.36	0.50	1.82	0.34	0.33	0.09	0.15	0.58	0.11	0.17	0.03	2.57	0.48
36年目	H 66	0.98786	0.99203	1.00167	0.99036	0.1780	91.3	0.95	0.36	0.50	1.81	0.32	0.33	0.09	0.15	0.57	0.10	0.17	0.03	2.55	0.45
37年目	H 67	0.98775	0.99198	1.00167	0.99029	0.1712	91.3	0.93	0.36	0.50	1.79	0.31	0.33	0.09	0.15	0.57	0.10	0.17	0.03	2.53	0.43
38年目	H 68	0.98764	0.99192	1.00167	0.99021	0.1646	91.3	0.92	0.35	0.50	1.78	0.29	0.32	0.09	0.15	0.57	0.09	0.17	0.03	2.52	0.41
39年目	H 69	0.98753	0.99187	1.00167	0.99014	0.1583	91.3	0.91	0.35	0.51	1.77	0.28	0.32	0.09	0.16	0.56	0.09	0.17	0.03	2.50	0.39
40年目	H 70	0.98741	0.99182	1.00166	0.99007	0.1522	91.3	0.90	0.35	0.51	1.75	0.27	0.31	0.09	0.16	0.56	0.08	0.16	0.03	2.48	0.38
41年目	H 71	0.98730	0.99177	1.00166	0.98999	0.1463	91.3	0.89	0.35	0.51	1.74	0.25	0.31	0.09	0.16	0.55	0.08	0.16	0.02	2.46	0.36
42年目	H 72	0.98719	0.99172	1.00166	0.98992	0.1407	91.3	0.88	0.34	0.51	1.73	0.24	0.31	0.09	0.16	0.55	0.08	0.16	0.02	2.44	0.34
43年目	H 73	0.98708	0.99167	1.00166	0.98985	0.1353	91.3	0.87	0.34	0.51	1.71	0.23	0.30	0.09	0.16	0.54	0.07	0.16	0.02	2.42	0.33
44年目	H 74	0.98697	0.99162	1.00166	0.98977	0.1301	91.3	0.85	0.34	0.51	1.70	0.22	0.30	0.09	0.16	0.54	0.07	0.16	0.02	2.40	0.31
45年目	H 75	0.98685	0.99157	1.00165	0.98970	0.1251	91.3	0.84	0.33	0.51	1.69	0.21	0.29	0.08	0.16	0.53	0.07	0.16	0.02	2.38	0.30
46年目	H 76	0.98674	0.99152	1.00165	0.98963	0.1203	91.3	0.83	0.33	0.51	1.67	0.20	0.29	0.08	0.16	0.53	0.06	0.16	0.02	2.36	0.28
47年目	H 77	0.98663	0.99147	1.00165	0.98956	0.1157	91.3	0.82	0.33	0.51	1.66	0.19	0.29	0.08	0.16	0.53	0.06	0.15	0.02	2.34	0.27
48年目	H 78	0.98652	0.99141	1.00165	0.98948	0.1112	91.3	0.81	0.33	0.51	1.65	0.18	0.28	0.08	0.16	0.52	0.06	0.15	0.02	2.32	0.26
49年目	H 79	0.98641	0.99136	1.00165	0.98941	0.1069	91.3	0.80	0.32	0.51	1.64	0.17	0.28	0.08	0.16	0.52	0.06	0.15	0.02	2.30	0.25
合 計								57.05	20.97	25.86	103.88	36.99	19.44	5.31	7.97	32.73	11.59	9.52	3.31	146.13	51.89

便益の現在価値算定表

箇所名：牟岐バイパス(残事業)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
完成供用開始年次	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7307	91.3	1.98	0.72	0.70	3.40	2.48	0.61	0.18	0.22	1.01	0.74	0.23	0.17	4.64	3.39
1年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7026	91.3	1.96	0.72	0.69	3.37	2.37	0.60	0.18	0.22	1.00	0.70	0.23	0.16	4.60	3.23
2年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.6756	91.3	1.40	0.52	0.52	2.44	1.65	0.47	0.13	0.16	0.77	0.52	0.23	0.15	3.43	2.32
3年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6496	91.3	1.39	0.51	0.52	2.43	1.58	0.47	0.13	0.16	0.76	0.50	0.22	0.15	3.41	2.22
4年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6246	91.3	1.39	0.51	0.52	2.41	1.51	0.47	0.13	0.16	0.76	0.47	0.22	0.14	3.40	2.12
5年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6006	91.3	1.38	0.50	0.52	2.40	1.44	0.47	0.13	0.16	0.75	0.45	0.22	0.13	3.38	2.03
6年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.5775	91.3	1.37	0.50	0.52	2.39	1.38	0.46	0.13	0.16	0.75	0.43	0.22	0.13	3.36	1.94
7年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5553	91.3	1.37	0.49	0.52	2.38	1.32	0.46	0.12	0.16	0.75	0.41	0.22	0.12	3.34	1.86
8年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5339	91.3	1.36	0.48	0.52	2.36	1.26	0.46	0.12	0.16	0.74	0.40	0.22	0.12	3.32	1.77
9年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5134	91.3	1.35	0.48	0.52	2.35	1.21	0.46	0.12	0.16	0.74	0.38	0.22	0.11	3.31	1.70
10年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.4936	91.3	1.35	0.47	0.52	2.34	1.15	0.46	0.12	0.16	0.74	0.36	0.21	0.11	3.29	1.62
11年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4746	91.3	1.34	0.47	0.52	2.32	1.10	0.45	0.12	0.16	0.73	0.35	0.21	0.10	3.27	1.55
12年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4564	91.3	1.33	0.46	0.52	2.31	1.05	0.45	0.12	0.16	0.73	0.33	0.21	0.10	3.25	1.48
13年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4388	91.3	1.32	0.46	0.52	2.30	1.01	0.45	0.12	0.16	0.72	0.32	0.21	0.09	3.23	1.42
14年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4220	91.3	1.31	0.46	0.52	2.28	0.96	0.44	0.12	0.16	0.72	0.30	0.21	0.09	3.21	1.35
15年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4057	91.3	1.29	0.45	0.52	2.27	0.92	0.44	0.11	0.16	0.71	0.29	0.21	0.08	3.19	1.29
16年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.3901	91.3	1.28	0.45	0.52	2.25	0.88	0.43	0.11	0.16	0.71	0.28	0.21	0.08	3.16	1.23
17年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3751	91.3	1.27	0.45	0.52	2.24	0.84	0.43	0.11	0.16	0.70	0.26	0.20	0.08	3.14	1.18
18年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3607	91.3	1.26	0.44	0.52	2.22	0.80	0.42	0.11	0.16	0.70	0.25	0.20	0.07	3.12	1.13
19年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3468	91.3	1.24	0.44	0.52	2.21	0.77	0.42	0.11	0.16	0.69	0.24	0.20	0.07	3.10	1.08
20年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3335	91.3	1.23	0.44	0.52	2.19	0.73	0.42	0.11	0.16	0.69	0.23	0.20	0.07	3.08	1.03
21年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3207	91.3	1.22	0.43	0.52	2.18	0.70	0.41	0.11	0.16	0.68	0.22	0.20	0.06	3.06	0.98
22年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3083	91.3	1.11	0.40	0.49	2.00	0.62	0.39	0.10	0.15	0.64	0.20	0.20	0.06	2.83	0.87
23年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.2965	91.3	1.10	0.40	0.49	1.99	0.59	0.38	0.10	0.15	0.63	0.19	0.19	0.06	2.81	0.83
24年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2851	91.3	1.09	0.39	0.49	1.97	0.56	0.38	0.10	0.15	0.63	0.18	0.19	0.05	2.79	0.80
25年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2741	91.3	1.07	0.39	0.49	1.96	0.54	0.37	0.10	0.15	0.62	0.17	0.19	0.05	2.77	0.76
26年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2636	91.3	1.06	0.39	0.49	1.95	0.51	0.37	0.10	0.15	0.62	0.16	0.19	0.05	2.75	0.73
27年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2534	91.3	1.05	0.39	0.50	1.93	0.49	0.37	0.10	0.15	0.62	0.16	0.19	0.05	2.73	0.69
28年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2437	91.3	1.04	0.38	0.50	1.92	0.47	0.36	0.10	0.15	0.61	0.15	0.19	0.05	2.71	0.66
29年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2343	91.3	1.03	0.38	0.50	1.90	0.45	0.36	0.10	0.15	0.61	0.14	0.18	0.04	2.69	0.63
30年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2253	91.3	1.02	0.38	0.50	1.89	0.43	0.35	0.10	0.15	0.60	0.14	0.18	0.04	2.67	0.60
31年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2166	91.3	1.00	0.37	0.50	1.88	0.41	0.35	0.09	0.15	0.60	0.13	0.18	0.04	2.65	0.58
32年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2083	91.3	0.99	0.37	0.50	1.86	0.39	0.35	0.09	0.15	0.59	0.12	0.18	0.04	2.63	0.55
33年目	H 63	0.98820	0.99218	1.00168	0.99058	0.2003	91.3	0.98	0.37	0.50	1.85	0.37	0.34	0.09	0.15	0.59	0.12	0.18	0.04	2.61	0.52
34年目	H 64	0.98809	0.99213	1.00168	0.99050	0.1926	91.3	0.97	0.37	0.50	1.84	0.35	0.34	0.09	0.15	0.58	0.11	0.17	0.03	2.59	0.50
35年目	H 65	0.98797	0.99208	1.00167	0.99043	0.1852	91.3	0.96	0.36	0.50	1.82	0.34	0.33	0.09	0.15	0.58	0.11	0.17	0.03	2.57	0.48
36年目	H 66	0.98786	0.99203	1.00167	0.99036	0.1780	91.3	0.95	0.36	0.50	1.81	0.32	0.33	0.09	0.15	0.57	0.10	0.17	0.03	2.55	0.45
37年目	H 67	0.98775	0.99198	1.00167	0.99029	0.1712	91.3	0.93	0.36	0.50	1.79	0.31	0.33	0.09	0.15	0.57	0.10	0.17	0.03	2.53	0.43
38年目	H 68	0.98764	0.99192	1.00167	0.99021	0.1646	91.3	0.92	0.35	0.50	1.78	0.29	0.32	0.09	0.15	0.57	0.09	0.17	0.03	2.52	0.41
39年目	H 69	0.98753	0.99187	1.00167	0.99014	0.1583	91.3	0.91	0.35	0.51	1.77	0.28	0.32	0.09	0.16	0.56	0.09	0.17	0.03	2.50	0.39
40年目	H 70	0.98741	0.99182	1.00166	0.99007	0.1522	91.3	0.90	0.35	0.51	1.75	0.27	0.31	0.09	0.16	0.56	0.08	0.16	0.03	2.48	0.38
41年目	H 71	0.98730	0.99177	1.00166	0.98999	0.1463	91.3	0.89	0.35	0.51	1.74	0.25	0.31	0.09	0.16	0.55	0.08	0.16	0.02	2.46	0.36
42年目	H 72	0.98719	0.99172	1.00166	0.98992	0.1407	91.3	0.88	0.34	0.51	1.73	0.24	0.31	0.09	0.16	0.55	0.08	0.16	0.02	2.44	0.34
43年目	H 73	0.98708	0.99167	1.00166	0.98985	0.1353	91.3	0.87	0.34	0.51	1.71	0.23	0.30	0.09	0.16	0.54	0.07	0.16	0.02	2.42	0.33
44年目	H 74	0.98697	0.99162	1.00166	0.98977	0.1301	91.3	0.85	0.34	0.51	1.70	0.22	0.30	0.09	0.16	0.54	0.07	0.16	0.02	2.40	0.31
45年目	H 75	0.98685	0.99157	1.00165	0.98970	0.1251	91.3	0.84	0.33	0.51	1.69	0.21	0.29	0.08	0.16	0.53	0.07	0.16	0.02	2.38	0.30
46年目	H 76	0.98674	0.99152	1.00165	0.98963	0.1203	91.3	0.83	0.33	0.51	1.67	0.20									

便益の現在価値算定表

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率				割引率 (A)	GDP デフレーター	通行止めによる経済損失		通行止めに伴う 沿道孤立による営業損失		津波浸水による通行被害	
	H22	乗用車類	小型車類	普通車類	全 車			①便益	現在価値 ①×(A)	①便益	現在価値 ①×(A)	①便益	現在価値 ①×(A)
供用開始年次	H30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7307	91.3	0.14	0.10	0.35	0.26	2.58	1.88
1 年目	H31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7026	91.3	0.14	0.10	0.35	0.25	2.56	1.80
2 年目	H32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.6756	91.3	0.03	0.02	0.09	0.06	0.63	0.43
3 年目	H33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6496	91.3	0.03	0.02	0.09	0.06	0.63	0.41
4 年目	H34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6246	91.3	0.03	0.02	0.09	0.05	0.63	0.39
5 年目	H35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6006	91.3	0.03	0.02	0.09	0.05	0.62	0.37
6 年目	H36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.5775	91.3	0.03	0.02	0.09	0.05	0.62	0.36
7 年目	H37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5553	91.3	0.03	0.02	0.08	0.05	0.62	0.34
8 年目	H38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5339	91.3	0.03	0.02	0.08	0.04	0.61	0.33
9 年目	H39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5134	91.3	0.03	0.02	0.08	0.04	0.61	0.31
10 年目	H40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.4936	91.3	0.03	0.02	0.08	0.04	0.61	0.30
11 年目	H41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4746	91.3	0.03	0.02	0.08	0.04	0.60	0.29
12 年目	H42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4564	91.3	0.03	0.01	0.08	0.04	0.60	0.27
13 年目	H43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4388	91.3	0.03	0.01	0.08	0.04	0.59	0.26
14 年目	H44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4220	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.59	0.25
15 年目	H45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4057	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.58	0.24
16 年目	H46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.3901	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.58	0.23
17 年目	H47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3751	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.57	0.22
18 年目	H48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3607	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.57	0.21
19 年目	H49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3468	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.56	0.20
20 年目	H50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3335	91.3	0.03	0.01	0.08	0.03	0.56	0.19
21 年目	H51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3207	91.3	0.03	0.01	0.08	0.02	0.56	0.18
22 年目	H52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3083	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.22	0.07
23 年目	H53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.2965	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.22	0.06
24 年目	H54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2851	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.22	0.06
25 年目	H55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2741	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.06
26 年目	H56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2636	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.06
27 年目	H57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2534	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.05
28 年目	H58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2437	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.05
29 年目	H59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2343	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.21	0.05
30 年目	H60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2253	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.20	0.05
31 年目	H61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2166	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.20	0.04
32 年目	H62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2083	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.20	0.04
33 年目	H63	0.98820	0.99218	1.00168	0.99058	0.2003	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.20	0.04
34 年目	H64	0.98809	0.99213	1.00168	0.99050	0.1926	91.3	0.01	0.00	0.03	0.01	0.20	0.04
35 年目	H65	0.98797	0.99208	1.00167	0.99043	0.1852	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.20	0.04
36 年目	H66	0.98786	0.99203	1.00167	0.99036	0.1780	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.19	0.03
37 年目	H67	0.98775	0.99198	1.00167	0.99029	0.1712	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.19	0.03
38 年目	H68	0.98764	0.99192	1.00167	0.99021	0.1646	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.19	0.03
39 年目	H69	0.98753	0.99187	1.00167	0.99014	0.1583	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.19	0.03
40 年目	H70	0.98741	0.99182	1.00166	0.99007	0.1522	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.19	0.03
41 年目	H71	0.98730	0.99177	1.00166	0.98999	0.1463	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.18	0.03
42 年目	H72	0.98719	0.99172	1.00166	0.98992	0.1407	91.3	0.01	0.00	0.03	0.00	0.18	0.03
43 年目	H73	0.98708	0.99167	1.00166	0.98985	0.1353	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.18	0.02
44 年目	H74	0.98697	0.99162	1.00166	0.98977	0.1301	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.18	0.02
45 年目	H75	0.98685	0.99157	1.00165	0.98970	0.1251	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.18	0.02
46 年目	H76	0.98674	0.99152	1.00165	0.98963	0.1203	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.17	0.02
47 年目	H77	0.98663	0.99147	1.00165	0.98956	0.1157	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.17	0.02
48 年目	H78	0.98652	0.99141	1.00165	0.98948	0.1112	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.17	0.02
49 年目	H79	0.98641	0.99136	1.00165	0.98941	0.1069	91.3	0.01	0.00	0.02	0.00	0.17	0.02
合 計								1.22	0.57	3.09	1.44	22.53	10.50

※通行止め考慮しない場合の標準3便益

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	牟岐バイパス	2	2.4km

■事業費内訳(全体事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					4,088	
	改良費				940	
		土工	m3	491,988	493	切土(260,145m3)、盛土(42,537m3)、捨土(189,306m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	25,244	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	55	重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	751	34	
		函渠工	m	193	53	
		排水工	m	5,724	131	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	46	機能補償道路(111m)・水路(111m)等
	橋梁費				873	
		100m以上	m	304	873	鋼橋(1橋)、PC橋梁(1橋)
		100m未満	m			
	トンネル費				2,114	
		NATM	m	704	2,114	4本
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				105	
		車道舗装	m²	16,561	100	
		歩道舗装	m²	1,492	5	
	付帯施設費				56	
		交通管理施設工	式	1	56	標識工、防護柵工、道路照明等
遮音壁		m				
②用地及補償費					1,203	
用地費			m²	58,440	335	
	宅地	m²	7,543	282		
	田畑	m²	14,287	34		
	山林・原野	m²	36,280	14		
	その他	m²	330	4		
	補償費	式	1	868		
③間接経費			式	1	1,697	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					7,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	牟岐バイパス	2	2.4km

■事業費内訳(残事業費)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					4,088	
	改良費				940	
		土工	m3	491,988	493	切土(260,145m3)、盛土(42,537m3)、捨土(189,306m3)
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m²	25,244	129	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	55	重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	751	34	
		函渠工	m	193	53	
		排水工	m	5,724	131	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	46	機能補償道路(111m)・水路(111m)等
	橋梁費				873	
		100m以上	m	304	873	鋼橋(1橋), PC橋梁(1橋)
		100m未満	m			
	トンネル費				2,114	
		NATM	m	704	2,114	4本
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				105	
		車道舗装	m²	16,561	100	
		歩道舗装	m²	1,492	5	
	付帯施設費				56	
		交通管理施設工	式	1	56	標識工、防護柵工、道路照明等
遮音壁		m				
②用地及補償費					1,203	
用地費			m²	58,440	335	
	宅地	m²	7,543	282		
	田畑	m²	14,287	34		
	山林・原野	m²	36,280	14		
	その他	m²	330	4		
	補償費	式	1	868		
③間接経費			式	1	878	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
残事業費					6,200	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道55号	牟岐バイパス	2	2.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.4	499	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	698	橋梁2橋、トンネル4本
その他	式	1	0	
維持管理費合計			1,197	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上